

台湾に対する意識調査 報告書

2025 年 12 月

一般社団法人中央調査社

目 次

調査の概要	1
問 1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域	2
問 2. 台湾と聞いて思いつくこと	3
問 3. これまでに台湾に行ったことがあるか	5
問 4. 台湾に行きたいか	6
問 5. 台湾に対する興味	7
問 6. 台湾に行きたくない理由	9
問 7. 台湾に対する親しみ	10
問 8. 親しみを感じる理由	11
問 9. 親しみを感じない理由	13
問 10. 台湾に対する信頼	14
問 11. 信頼できる理由	15
問 12. 信頼できない理由	17
問 13. 台湾に関する情報源	18
問 14. 台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル	20
問 15. 台湾に関する情報源となっている SNS	22
問 16. 台湾に関する番組や報道を目にしたか	23
問 17. 印象に残った台湾に関する報道	24
問 18. 台北駐日経済文化代表処を知っているか	26
問 19. 日本と台湾の関係をどう思うか	27
問 20. 日本と台湾の関係は将来どうなるか	28
問 21. 日本と台湾の間で最も懸念される問題	29
問 22. 力を入れて行うべき交流の分野	31
問 23. 日本で売っているのを見た、あるいは食べたことのある台湾産の農産物、水産物	33
問 24. アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であること	35
問 25. 台湾の国際機関参加が中国の干渉により困難に直面していることへの認知	37
問 26. 台湾の国際機関への参加について	38
結論	39
調査項目一覧	43
主要質問時系列グラフ（2016 年～2025 年）	50

◎ 調査の概要

(1) 調査目的

訪台経験や情報源、台湾に関する知識等を問うことを通じて、日本人が台湾に対してどのような意識を持っているかについて明らかにすることを目的とする。

(2) 調査対象

- ① 母集団 日本全国に居住する 20 歳以上 89 歳以下の男女

	男性							女性							合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
北海道	2	2	3	4	3	3	2	2	2	3	4	4	4	3	41
東北	4	4	6	6	6	6	3	3	4	5	6	6	7	5	71
関東	23	25	30	35	24	24	13	22	23	28	32	24	27	19	349
中部	10	11	14	16	12	13	7	9	10	13	15	13	15	10	168
近畿	11	11	14	16	12	13	7	11	11	14	17	13	15	11	176
中国	3	3	4	5	4	5	2	3	3	4	5	4	5	4	54
四国	2	2	2	3	2	3	1	1	2	2	3	2	3	2	30
九州	6	7	9	9	9	9	4	6	7	9	10	9	10	7	111
合計	61	65	82	94	72	76	39	57	62	78	92	75	86	61	1,000

- ② 標本数 1,000 人

(3) 調査方法

インターネット調査

(4) 調査期間

インターネット調査 2025 年 10 月 24 日～10 月 28 日

(5) 標本構成

母集団の構成比に合わせて、下記の通り割付けを行った。

北海道 北海道
 東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(6) 報告書を読む際の注意

単位がパーセンテージの結果数値は、各実数を基に比率表示し、小数第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。

2024 年度は調査を実施しなかったため、参考値として 2023 年 10 月調査における回答パーセンテージを表示している。2023 年調査と 2025 年調査で同一の質問および選択肢を用いたもののみ参考値を表示し、同質問だが質問文に変更があるものは 2023 年 10 月調査での質問文を注記している。

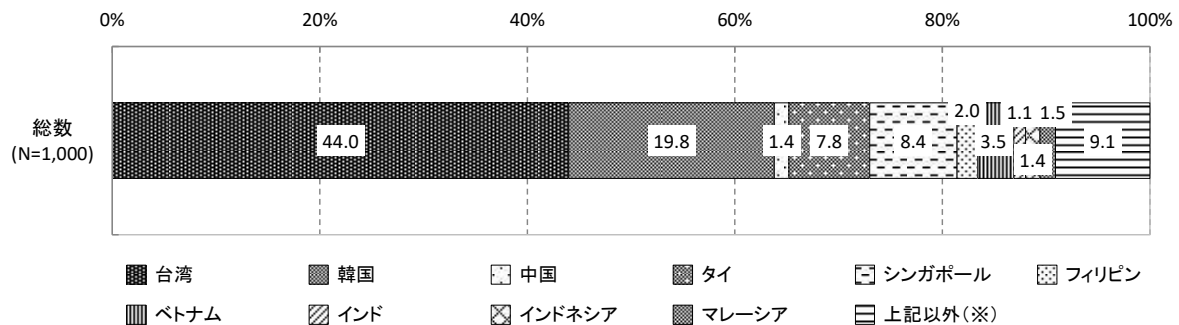
2021 年度までは 80 代は電話調査で実施していたが、2023 年度よりインターネット調査のみとなったため、「無回答」は発生しない。

本調査における標本誤差（信頼度 95%）は下表のとおりである。

N	回答割合10% または 90%	回答割合20% または 80%	回答割合30% または 70%	回答割合40% または 60%	回答割合50%
1000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.5
600	±2.4	±3.2	±3.7	±3.9	±4.0
400	±2.9	±3.9	±4.5	±4.8	±4.9
200	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9

もっとも親しみを感ずるアジアの国・地域

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感ずるのはどこですか。(答えは1つ)



もっとも親しみを感ずるアジアの国・地域を「台湾」、「韓国」、「中国」、「タイ」、「シンガポール」、「フィリピン」、「ベトナム」、「インド」、「インドネシア」、「マレーシア」、「それ以外」の中から選んでもらったところ、「台湾」と答えた者の割合が最も高く、44.0%だった。以下、「韓国」が19.8%、「シンガポール」が8.4%、「タイ」が7.8%、「ベトナム」が3.5%、「フィリピン」が2.0%、「マレーシア」が1.5%、「中国」、「インドネシア」が同率で1.4%、「インド」が1.1%の順となっている。

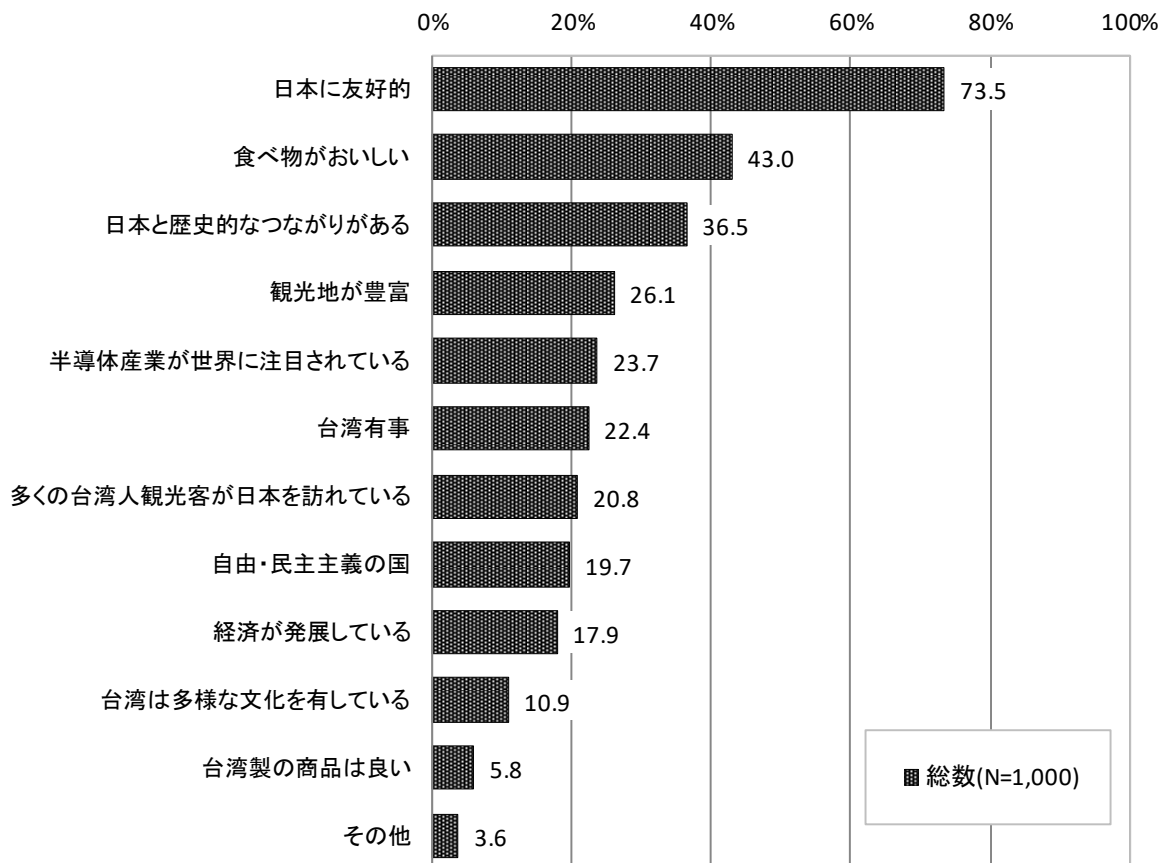
なお、「上記（台湾・韓国・中国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム・インド・インドネシア、マレーシア）以外」と答えた者は9.1%で、具体的な国名としては、スリランカ（2人）、ネパール（2人）などがあげられた。

性別にみると、「台湾」と答えたのは男性で46.2%、女性で41.9%となっており、男性で高い。

	総数	台湾	韓国	中国	タイ	シンガポール	フィリピン	ベトナム	インド	インドネシア	マレーシア	上記以外(※)
総数	1,000	44.0	19.8	1.4	7.8	8.4	2.0	3.5	1.1	1.4	1.5	9.1
性別												
男性	489	46.2	12.7	2.0	10.0	9.0	2.7	3.9	1.4	2.0	1.4	8.6
女性	511	41.9	26.6	0.8	5.7	7.8	1.4	3.1	0.8	0.8	1.6	9.6
年代												
20歳代	118	39.8	32.2	2.5	3.4	3.4	3.4	2.5	1.7	1.7	0.0	9.3
30歳代	127	49.6	20.5	3.9	3.9	10.2	1.6	3.1	0.0	0.8	2.4	3.9
40歳代	160	41.9	21.3	0.6	8.1	4.4	1.3	4.4	1.3	1.9	1.9	13.1
50歳代	186	44.1	21.0	1.6	10.8	8.1	1.6	1.6	0.5	1.6	0.5	8.6
60歳代	147	41.5	13.6	1.4	10.2	12.2	1.4	6.8	0.7	1.4	2.7	8.2
70歳代	162	42.6	21.0	0.0	6.2	7.4	3.7	3.1	1.2	1.9	1.9	11.1
80歳代	100	51.0	7.0	0.0	11.0	15.0	1.0	3.0	3.0	0.0	1.0	8.0
最終学歴												
中学校	24	37.5	25.0	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8
高等学校	292	37.3	24.3	0.3	8.6	8.6	2.1	2.1	1.4	0.7	1.4	13.4
短大・高専・専門学校	217	44.7	20.7	0.9	6.9	8.8	0.9	1.4	0.9	2.3	1.4	11.1
大学・大学院	467	48.2	16.3	2.1	7.9	8.6	2.4	5.4	1.1	1.5	1.7	4.9
職業												
事務職	180	41.7	20.0	1.7	8.3	9.4	2.8	3.9	2.8	1.1	1.7	6.7
管理職	66	47.0	13.6	1.5	7.6	12.1	0.0	4.5	1.5	1.5	3.0	7.6
専門的・技術職	126	49.2	16.7	2.4	11.1	5.6	0.8	3.2	0.0	2.4	0.0	8.7
販売・サービス職	95	49.5	21.1	2.1	6.3	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	2.1	8.4
技能・労務職	65	33.8	21.5	3.1	6.2	6.2	3.1	6.2	0.0	7.7	1.5	10.8
農林漁業	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
主婦・主夫	239	38.1	25.5	0.0	4.2	11.3	2.9	3.8	1.3	0.4	1.7	10.9
学生	9	22.2	55.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
無職	214	49.5	14.5	1.4	11.2	7.0	2.3	1.4	0.9	0.9	0.9	9.8
地域												
北海道	41	46.3	19.5	2.4	12.2	7.3	4.9	0.0	2.4	0.0	0.0	4.9
東北	71	52.1	15.5	0.0	7.0	7.0	2.8	5.6	2.8	0.0	1.4	5.6
関東	349	43.3	16.3	2.0	9.5	9.5	1.7	4.3	0.9	1.1	1.4	10.0
中部	168	44.0	20.2	1.2	6.5	8.3	3.6	3.0	1.2	2.4	0.0	9.5
近畿	176	42.0	28.4	0.0	6.3	4.0	0.6	4.0	1.1	2.8	2.3	8.5
中国	54	40.7	27.8	1.9	3.7	9.3	1.9	3.7	0.0	0.0	0.0	11.1
四国	30	56.7	6.7	6.7	6.7	13.3	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
九州	111	41.4	18.9	0.9	8.1	11.7	1.8	0.9	0.9	0.9	3.6	10.8
参考: 2023年10月(総数)	1,000	46.2	19.1	1.9	8.4	9.1	3.4	3.4	3.1	-	-	5.4

台湾と聞いて思いつくこと

問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



「台湾」と聞いて思いつくことを聞いたところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、73.5%だった。続いて「食べ物がおいしい」43.0%、「日本と歴史的なつながりがある」36.5%、「観光地が豊富」26.1%、「半導体産業が世界に注目されている」23.7%、「台湾有事」22.4%、「多くの台湾人観光客が日本を訪れている」20.8%、「自由・民主主義の国」19.7%、「経済が発展している」17.9%、「台湾は多様な文化を有している」10.9%、「台湾製の商品は良い」5.8%の順となっている。

性別にみると、男女ともに「日本に友好的」が高い。このほかでは、男性では「日本と歴史的なつながりがある」、「半導体産業が世界に注目されている」をあげた者の割合が女性より高く、女性では「食べ物がおいしい」、「観光地が豊富」で男性より高くなっている。

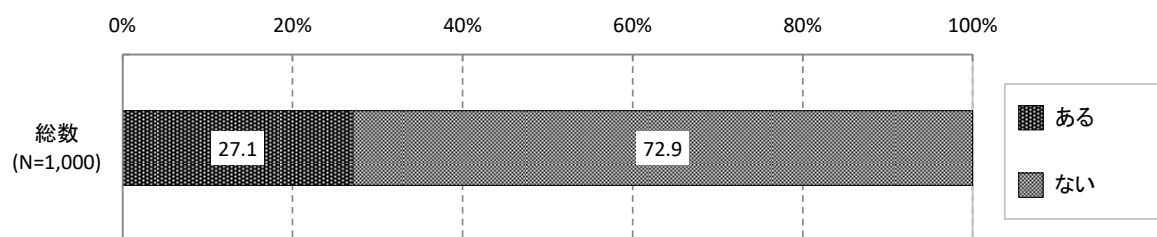
年代別にみると、「日本に友好的」をあげた者はすべての年代で5割台から8割台と最も多い。

		総数	日本に 友好的	自由・民主 主義の国	経済が発展 している	食べ物が おいしい	観光地が 豊富	日本と歴史 的なつながり がある	台湾製の 商品は良い
総数		1,000	73.5	19.7	17.9	43.0	26.1	36.5	5.8
性別	男性	489	77.9	28.2	27.0	38.2	23.1	38.7	10
	女性	511	69.3	11.5	9.2	47.6	29.0	34.4	1.8
年代	20歳代	118	55.9	11.9	8.5	43.2	38.1	24.6	7.6
	30歳代	127	69.3	13.4	13.4	45.7	30.7	29.1	7.1
	40歳代	160	74.4	11.3	18.1	44.4	26.9	30.6	4.4
	50歳代	186	72.0	13.4	14.0	39.8	20.4	28.0	4.8
	60歳代	147	77.6	23.8	21.1	44.9	21.1	45.6	5.4
	70歳代	162	84.0	30.9	26.5	42.0	22.8	47.5	6.2
	80歳代	100	78.0	38.0	23.0	42.0	28.0	54.0	6.0
	無職	24	70.8	25.0	12.5	25.0	8.3	33.3	12.5
最終 学歴	中学校	292	69.5	17.1	16.4	39.7	21.6	31.5	3.8
	短大・高専・専門学校	217	68.2	13.8	8.3	41.9	31.3	34.6	2.8
	大学・大学院	467	78.6	23.8	23.6	46.5	27.4	40.7	8.1
	事務職	180	74.4	16.1	16.1	41.7	24.4	33.3	6.7
職業	管理職	66	83.3	21.2	21.2	37.9	27.3	34.8	3.0
	専門的・技術職	126	73.8	13.5	13.5	46.0	34.1	34.1	7.1
	販売・サービス職	95	71.6	17.9	17.9	51.6	28.4	41.1	8.4
	技能・労務職	65	66.2	23.1	15.4	32.3	15.4	20.0	7.7
	農林漁業	6	66.7	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0	33.3
	主婦・主夫	239	71.5	12.6	10.9	45.6	25.5	33.9	2.9
	学生	9	44.4	0.0	22.2	77.8	66.7	33.3	0.0
	無職	214	76.2	33.6	28.5	39.3	23.4	46.7	6.1
	北海道	41	73.2	24.4	26.8	46.3	31.7	34.1	14.6
	東北	71	83.1	22.5	16.9	45.1	21.1	38.0	4.2
地域	関東	349	74.2	20.9	20.1	43.6	29.2	37.2	7.4
	中部	168	72.0	22.0	17.3	36.9	26.8	38.1	3.0
	近畿	176	74.4	15.3	16.5	50.0	23.9	37.5	4.0
	中国	54	63.0	13.0	5.6	35.2	11.1	24.1	1.9
	四国	30	86.7	30.0	20.0	40.0	26.7	33.3	3.3
	九州	111	67.6	16.2	17.1	41.4	27.0	36.9	8.1
	参考: 2023年10月(総数)	1,000	74.8	22.9	20.8	45.0	30.7	36.8	7.0

		総数	多くの台湾人 観光客が日本 を訪れている	台湾は多様 な文化を有し ている	台湾有事	半導体産業 が世界に注 目されている	その他
総数		1,000	20.8	10.9	22.4	23.7	3.6
性別	男性	489	23.5	10.6	27.8	33.3	2.5
	女性	511	18.2	11.2	17.2	14.5	4.7
年代	20歳代	118	11.0	12.7	11.9	9.3	8.5
	30歳代	127	18.9	11.8	19.7	18.9	3.1
	40歳代	160	20.6	11.3	18.1	19.4	5.0
	50歳代	186	15.1	9.7	21.5	21.5	3.8
	60歳代	147	27.9	8.2	24.5	29.9	2.7
	70歳代	162	28.4	13.6	32.1	37.0	1.2
	80歳代	100	23.0	9.0	28.0	27.0	1.0
	無職	24	12.5	4.2	29.2	16.7	4.2
最終 学歴	中学校	292	18.2	8.6	21.2	19.9	5.5
	短大・高専・専門学校	217	15.7	11.5	18.0	16.1	5.5
	大学・大学院	467	25.3	12.4	24.8	30.0	1.5
	事務職	180	17.8	11.1	16.7	18.3	2.8
職業	管理職	66	16.7	10.6	18.2	24.2	0.0
	専門的・技術職	126	21.4	12.7	23.8	19.8	4.8
	販売・サービス職	95	20.0	14.7	21.1	28.4	4.2
	技能・労務職	65	18.5	7.7	27.7	26.2	4.6
	農林漁業	6	16.7	50.0	16.7	33.3	0.0
	主婦・主夫	239	21.3	9.2	19.2	17.2	4.6
	学生	9	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0
	無職	214	25.2	10.3	31.3	34.6	3.3
	北海道	41	19.5	19.5	22.0	24.4	2.4
	東北	71	31.0	12.7	29.6	26.8	2.8
地域	関東	349	21.8	9.7	22.3	26.4	3.4
	中部	168	19.6	8.9	19.6	23.2	3.6
	近畿	176	15.9	14.2	22.2	20.5	1.7
	中国	54	11.1	9.3	20.4	20.4	5.6
	四国	30	33.3	10.0	20.0	26.7	6.7
	九州	111	22.5	9.0	24.3	19.8	6.3
	参考: 2023年10月(総数)	1,000	21.3	11.0	24.5	23.9	2.6

これまでに台湾に行ったことがあるか

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



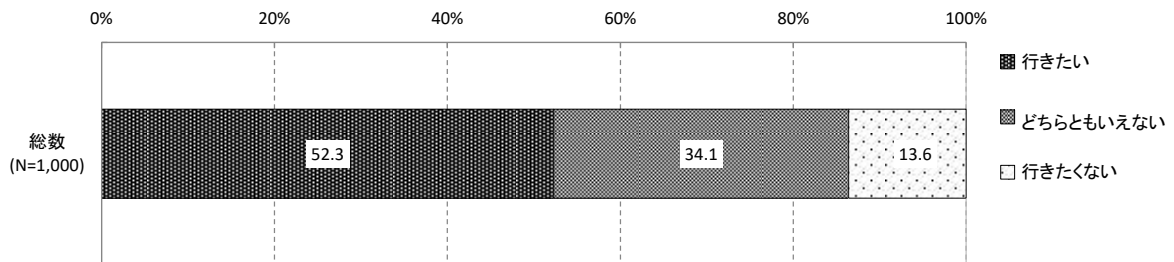
これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、「行ったことがある」と答えたのは27.1%、「行ったことがない」と答えたのは72.9%だった。

年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合が高かったのは70歳代以上で、3割台となっている一方、60歳代以下では「行ったことがない」と答えた者の割合が高く、7割台から8割台となっている。

		総数	ある	ない
総数		1,000	27.1	72.9
性別	男性	489	25.4	74.6
	女性	511	28.8	71.2
年代	20歳代	118	16.1	83.9
	30歳代	127	29.1	70.9
	40歳代	160	26.3	73.8
	50歳代	186	22.0	78.0
	60歳代	147	29.9	70.1
	70歳代	162	33.3	66.7
	80歳代	100	34.0	66.0
最終学歴	中学校	24	12.5	87.5
	高等学校	292	21.2	78.8
	短大・高専・専門学校	217	26.3	73.7
	大学・大学院	467	31.9	68.1
職業	事務職	180	29.4	70.6
	管理職	66	40.9	59.1
	専門的・技術職	126	26.2	73.8
	販売・サービス職	95	20.0	80.0
	技能・労務職	65	21.5	78.5
	農林漁業	6	16.7	83.3
	主婦・主夫	239	27.2	72.8
	学生	9	0.0	100.0
	無職	214	27.6	72.4
地域	北海道	41	14.6	85.4
	東北	71	22.5	77.5
	関東	349	29.2	70.8
	中部	168	25.6	74.4
	近畿	176	30.7	69.3
	中国	54	22.2	77.8
	四国	30	23.3	76.7
	九州	111	27.9	72.1
参考: 2023年10月(総数)		1,000	25.9	74.1

台湾に行きたいか

問4 今後、あなたは台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



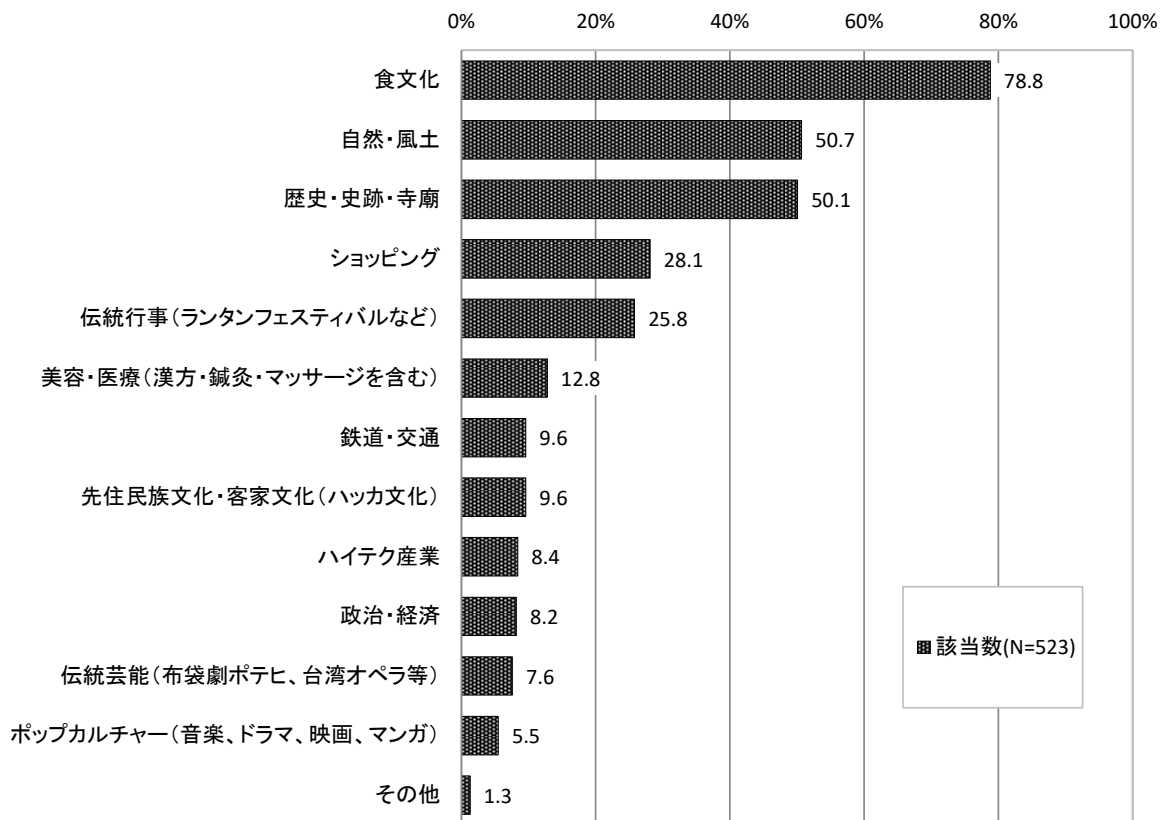
今後、台湾に行きたいか聞いたところ、「行きたい」と答えたのは52.3%、「どちらともいえない」と答えたのは34.1%、「行きたくない」と答えたのは13.6%だった。

性別にみると、「行きたい」と答えたのは男性で54.0%、女性で50.7%と男性のほうが高い。

		総数	行きたい	どちらとも いえない	行きたく ない
総数		1,000	52.3	34.1	13.6
性別	男性	489	54.0	33.9	12.1
	女性	511	50.7	34.2	15.1
年代	20歳代	118	49.2	34.7	16.1
	30歳代	127	55.9	26.0	18.1
	40歳代	160	52.5	34.4	13.1
	50歳代	186	55.9	32.3	11.8
	60歳代	147	49.7	36.7	13.6
	70歳代	162	46.9	41.4	11.7
	80歳代	100	57.0	31.0	12.0
最終 学歴	中学校	24	33.3	37.5	29.2
	高等学校	292	45.5	38.0	16.4
	短大・高専・専門学校	217	47.9	35.0	17.1
	大学・大学院	467	59.5	31.0	9.4
職業	事務職	180	59.4	31.7	8.9
	管理職	66	68.2	22.7	9.1
	専門的・技術職	126	57.1	30.2	12.7
	販売・サービス職	95	51.6	36.8	11.6
	技能・労務職	65	41.5	40.0	18.5
	農林漁業	6	66.7	0.0	33.3
	主婦・主夫	239	51.0	33.5	15.5
	学生	9	77.8	22.2	0.0
	無職	214	42.1	41.1	16.8
地域	北海道	41	39.0	46.3	14.6
	東北	71	64.8	19.7	15.5
	関東	349	49.9	37.8	12.3
	中部	168	48.2	35.1	16.7
	近畿	176	53.4	31.8	14.8
	中国	54	59.3	29.6	11.1
	四国	30	70.0	20.0	10.0
	九州	111	53.2	35.1	11.7
参考: 2023年10月(総数)		1,000	56.0	33.8	10.2

台湾に対する興味

問5 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



今後台湾に行きたいと答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者の割合が最も高く、78.8%だった。以下、「自然・風土」50.7%、「歴史・史跡・寺廟」50.1%、「ショッピング」28.1%、「伝統行事(ランタンフェスティバルなど)」25.8%、「美容・医療(漢方・鍼灸・マッサージを含む)」12.8%、「鉄道・交通」、「先住民族文化・客家文化(ハッカ文化)」が同率で9.6%、「ハイテク産業」8.4%、「政治・経済」8.2%、「伝統芸能(布袋劇ポテヒ、台湾オペラ等)」7.6%、「ポップカルチャー(音楽、ドラマ、映画、マンガ)」5.5%の順となっている。

性別にみると、「自然・風土」、「ハイテク産業」では男性のほうが高く、「ショッピング」、「伝統行事(ランタンフェスティバルなど)」では女性のほうが高くなっている。

年代別にみると、「食文化」をあげた者はすべての年代で6割台から8割台と最も多い。

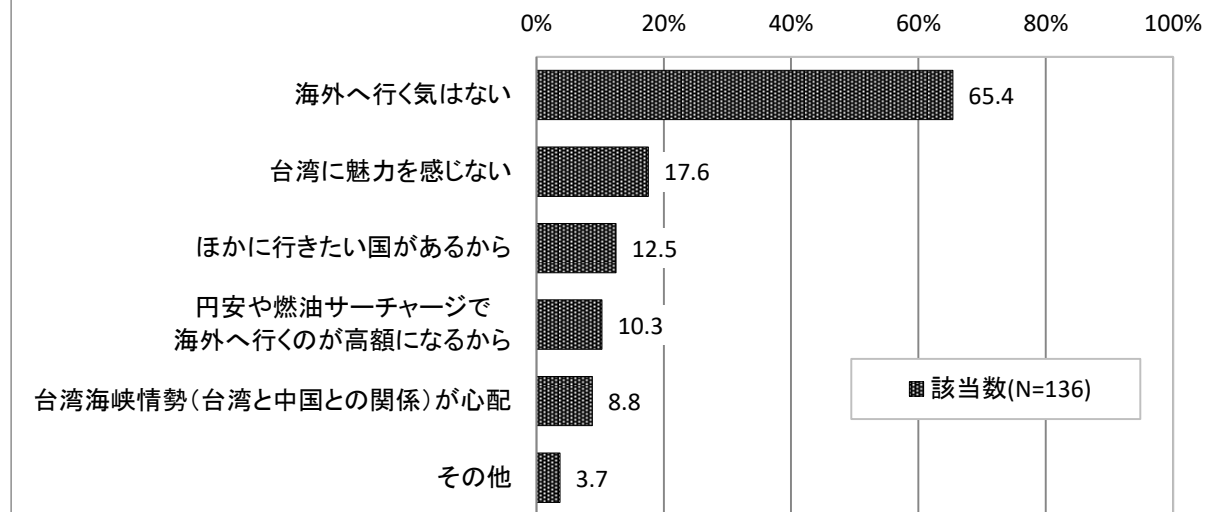
		該当数	自然・風土	政治・経済	食文化	歴史・史跡・ 寺廟	伝統行事 (ランタンフェス ティバルなど)	ショッピング	美容・医療 (漢方・鍼灸・ マッサージを 含む)
総数		523	50.7	8.2	78.8	50.1	25.8	28.1	12.8
性別	男性	264	55.7	11.4	76.1	53.8	20.8	23.9	9.1
	女性	259	45.6	5.0	81.5	46.3	30.9	32.4	16.6
年代	20歳代	58	46.6	15.5	72.4	46.6	27.6	32.8	13.8
	30歳代	71	39.4	11.3	76.1	46.5	31.0	35.2	16.9
	40歳代	84	45.2	8.3	81.0	50.0	25.0	27.4	16.7
	50歳代	104	47.1	5.8	83.7	38.5	20.2	30.8	13.5
	60歳代	73	52.1	5.5	87.7	54.8	31.5	31.5	8.2
	70歳代	76	67.1	7.9	69.7	57.9	23.7	22.4	10.5
	80歳代	57	59.6	5.3	77.2	63.2	24.6	14.0	8.8
最終 学歴	中学校	8	37.5	0.0	62.5	37.5	12.5	12.5	25.0
	高等学校	133	51.9	6.0	73.7	45.1	19.5	29.3	15.8
	短大・高専・専門学校	104	52.9	2.9	79.8	51.0	33.7	31.7	11.5
	大学・大学院	278	49.6	11.5	81.3	52.5	26.3	26.6	11.5
職業	事務職	107	47.7	8.4	75.7	50.5	29.9	29.0	13.1
	管理職	45	60.0	8.9	80.0	48.9	13.3	24.4	8.9
	専門的・技術職	72	52.8	12.5	90.3	50.0	22.2	30.6	15.3
	販売・サービス職	49	34.7	12.2	77.6	44.9	28.6	38.8	12.2
	技能・労務職	27	37.0	7.4	59.3	33.3	18.5	33.3	18.5
	農林漁業	4	75.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	主婦・主夫	122	50.8	6.6	78.7	49.2	31.1	30.3	14.8
	学生	7	57.1	0.0	100.0	28.6	0.0	14.3	14.3
	無職	90	58.9	5.6	78.9	61.1	25.6	17.8	8.9
	北海道	16	87.5	18.8	81.3	62.5	25.0	6.3	12.5
地域	東北	46	52.2	10.9	89.1	50.0	23.9	32.6	8.7
	関東	174	51.7	10.3	78.2	51.1	25.3	24.1	17.2
	中部	81	46.9	3.7	69.1	53.1	22.2	38.3	11.1
	近畿	94	44.7	7.4	76.6	43.6	29.8	26.6	13.8
	中国	32	40.6	3.1	84.4	50.0	28.1	34.4	6.3
	四国	21	42.9	9.5	85.7	61.9	28.6	23.8	0.0
	九州	59	59.3	6.8	83.1	45.8	25.4	28.8	11.9
参考:2023年11月(総数)		560	48.8	8.9	82.3	50.2	24.6	30.0	12.1※

※2023年10月調査では「美容・医療(漢方・鍼灸を含む)」

		該当数	ポップカル チャー (音楽、ドラマ、 映画、マンガ)	鉄道・交通	先住民文化 ・客家文化 (ハッカ文化)	伝統芸能 (布袋劇ボテ ヒ、台湾オペラ 等)	ハイテク 産業	その他
総数		523	5.5	9.6	9.6	7.6	8.4	1.3
性別	男性	264	6.1	12.5	9.5	6.1	12.9	1.1
	女性	259	5.0	6.6	9.7	9.3	3.9	1.5
年代	20歳代	58	15.5	12.1	8.6	6.9	1.7	1.7
	30歳代	71	8.5	9.9	2.8	5.6	7.0	0.0
	40歳代	84	10.7	4.8	8.3	8.3	8.3	0.0
	50歳代	104	2.9	10.6	6.7	4.8	6.7	1.0
	60歳代	73	0.0	8.2	11.0	9.6	4.1	1.4
	70歳代	76	1.3	14.5	17.1	9.2	18.4	2.6
	80歳代	57	1.8	7.0	14.0	10.5	12.3	3.5
最終 学歴	中学校	8	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	高等学校	133	5.3	7.5	7.5	6.0	6.8	0.8
	短大・高専・専門学校	104	3.8	5.8	10.6	7.7	5.8	1.9
	大学・大学院	278	6.1	12.2	10.4	8.6	10.1	1.4
職業	事務職	107	8.4	13.1	3.7	4.7	8.4	0.0
	管理職	45	2.2	6.7	8.9	4.4	4.4	0.0
	専門的・技術職	72	8.3	12.5	5.6	8.3	12.5	2.8
	販売・サービス職	49	10.2	12.2	16.3	8.2	6.1	0.0
	技能・労務職	27	0.0	7.4	3.7	11.1	11.1	0.0
	農林漁業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	主婦・主夫	122	3.3	4.1	12.3	11.5	5.7	0.8
	学生	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	90	4.4	12.2	15.6	6.7	12.2	3.3
	北海道	16	0.0	18.8	12.5	6.3	18.8	0.0
地域	東北	46	6.5	4.3	6.5	8.7	4.3	4.3
	関東	174	6.3	10.9	8.0	8.0	9.8	0.6
	中部	81	6.2	9.9	8.6	7.4	8.6	1.2
	近畿	94	3.2	8.5	12.8	9.6	5.3	1.1
	中国	32	3.1	9.4	3.1	0.0	15.6	3.1
	四国	21	9.5	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0
	九州	59	6.8	10.2	15.3	6.8	8.5	1.7
参考:2023年10月(総数)		560	7.0	7.5	7.7	7.0	9.3	1.3

台湾に行きたくない理由

問6 行きたくない理由は何ですか。(複数回答可)

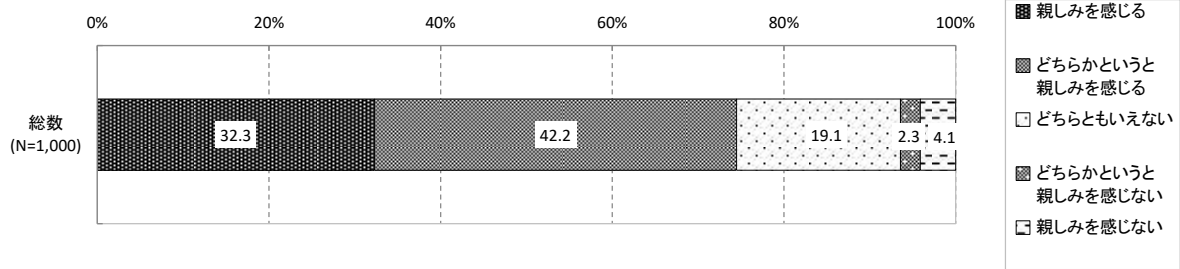


今後台湾に行きたくないと答えた者に、台湾に行きたくない理由を聞いたところ、「海外へ行く気はない」をあげた者の割合が最も高く、65.4%だった。以下、「台湾に魅力を感じない」17.6%、「ほかに行きたい国があるから」12.5%、「円安や燃油サーチャージで海外へ行くのが高額になるから」10.3%、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）が心配」8.8%の順となっている。

		該当数	海外へ行く気はない	円安や燃油サーチャージで海外へ行くのが高額になるから	台湾に魅力を感じない	台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)が心配	ほかに行きたい国があるから	その他
総数		136	65.4	10.3	17.6	8.8	12.5	3.7
性別	男性	59	71.2	6.8	6.8	6.8	11.9	3.4
	女性	77	61.0	13.0	26.0	10.4	13.0	3.9
年代	20歳代	19	68.4	10.5	15.8	0.0	5.3	5.3
	30歳代	23	78.3	8.7	4.3	17.4	17.4	0.0
	40歳代	21	61.9	19.0	19.0	14.3	9.5	4.8
	50歳代	22	63.6	13.6	22.7	4.5	13.6	4.5
	60歳代	20	55.0	10.0	25.0	15.0	20.0	0.0
	70歳代	19	57.9	5.3	26.3	5.3	10.5	5.3
	80歳代	12	75.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3
	中学校	7	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
最終学歴	高等学校	48	56.3	12.5	20.8	10.4	14.6	6.3
	短大・高専・専門学校	37	62.2	10.8	18.9	5.4	18.9	2.7
	大学・大学院	44	75.0	9.1	13.6	11.4	6.8	2.3
職業	事務職	16	75.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0
	管理職	6	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	専門的・技術職	16	56.3	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0
	販売・サービス職	11	72.7	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0
	技能・労務職	12	66.7	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3
	農林漁業	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	37	59.5	10.8	24.3	10.8	18.9	0.0
	学生	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	36	69.4	2.8	13.9	8.3	5.6	11.1
地域	北海道	6	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
	東北	11	90.9	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
	関東	43	60.5	7.0	20.9	11.6	11.6	4.7
	中部	28	64.3	7.1	17.9	3.6	21.4	0.0
	近畿	26	65.4	3.8	15.4	7.7	15.4	0.0
	中国	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	四国	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	九州	13	61.5	15.4	23.1	15.4	7.7	7.7
参考:2023年10月(総数)		102	66.7	5.9	24.5	6.9	12.7	2.9

台湾に対する親しみ

問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



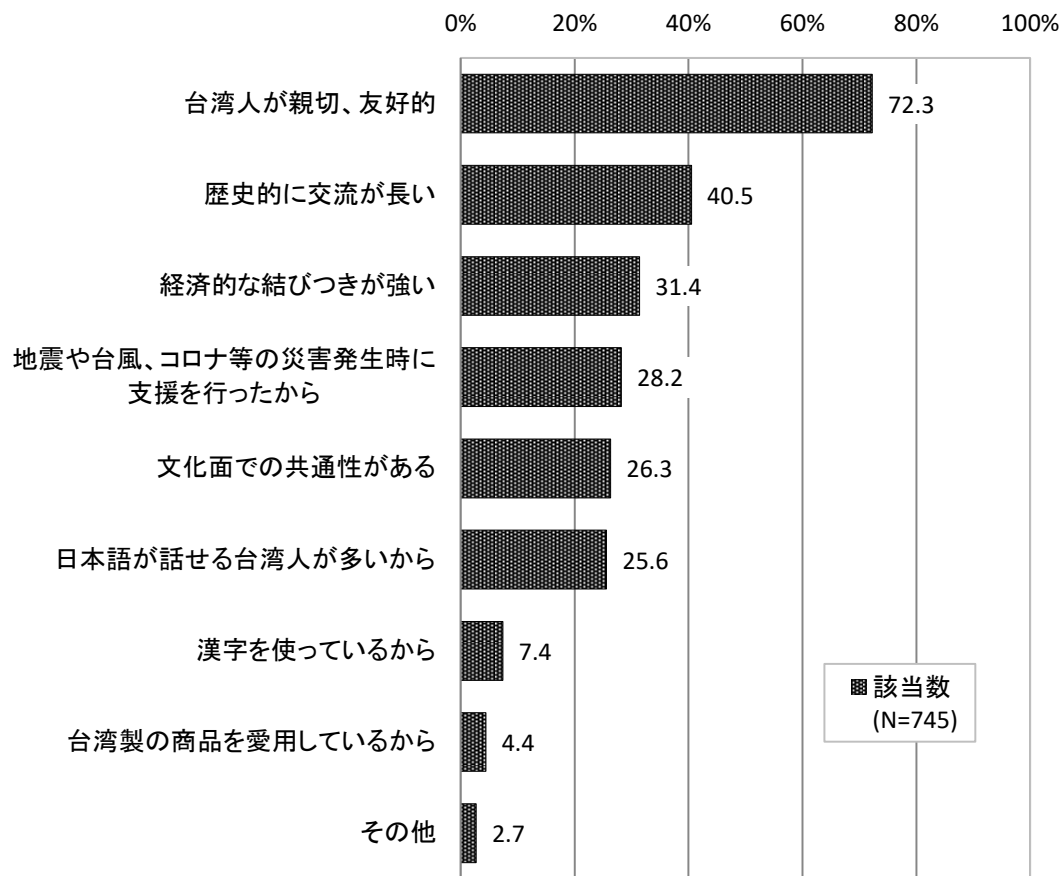
台湾に親しみを感じるか聞いたところ、「親しみを感じる」と答えたのは32.3%、「どちらかという」と親しみを感じる」と答えたのは42.2%、「どちらともいえない」と答えたのは19.1%、「どちらかという」と親しみを感じない」と答えたのは2.3%、「親しみを感じない」と答えたのは4.1%だった。

小計でみると、「親しみを感じる(計)」「(親しみを感じる) + 「どちらかという」と親しみを感じる」と答えた者は74.5%、「親しみを感じない(計)」「(親しみを感じない) + 「どちらかという」と親しみを感じない」と答えた者は6.4%となっている。

	総数	親しみを感じる	どちらかという と親しみを 感じる	どちらとも いえない	どちらかという と親しみを 感じない	親しみを 感じない	親しみを感 じる(計)	親しみを感 じない(計)
総数	1,000	32.3	42.2	19.1	2.3	4.1	74.5	6.4
性別								
男性	489	34.8	42.1	16.6	2.5	4.1	76.9	6.5
女性	511	29.9	42.3	21.5	2.2	4.1	72.2	6.3
年代								
20歳代	118	28.0	39.0	20.3	4.2	8.5	66.9	12.7
30歳代	127	26.0	42.5	21.3	3.1	7.1	68.5	10.2
40歳代	160	26.3	45.6	20.0	3.1	5.0	71.9	8.1
50歳代	186	31.7	41.4	23.1	1.6	2.2	73.1	3.8
60歳代	147	30.6	46.9	15.6	3.4	3.4	77.6	6.8
70歳代	162	40.1	40.1	16.7	0.6	2.5	80.2	3.1
80歳代	100	46.0	38.0	15.0	0.0	1.0	84.0	1.0
最終 学歴								
中学校	24	25.0	37.5	29.2	4.2	4.2	62.5	8.3
高等学校	292	26.0	41.4	24.3	2.4	5.8	67.5	8.2
短大・高専・専門学校	217	27.6	44.2	18.9	3.7	5.5	71.9	9.2
大学・大学院	467	38.8	42.0	15.4	1.5	2.4	80.7	3.9
職業								
事務職	180	33.3	48.3	12.8	1.7	3.9	81.7	5.6
管理職	66	34.8	45.5	16.7	1.5	1.5	80.3	3.0
専門的・技術職	126	30.2	50.0	13.5	2.4	4.0	80.2	6.3
販売・サービス職	95	30.5	43.2	22.1	3.2	1.1	73.7	4.2
技能・労務職	65	23.1	36.9	26.2	4.6	9.2	60.0	13.8
農林漁業	6	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7
主婦・主夫	239	31.8	36.8	23.4	2.9	5.0	68.6	7.9
学生	9	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	77.8	0.0
無職	214	36.0	38.8	20.1	1.4	3.7	74.8	5.1
地域								
北海道	41	29.3	39.0	22.0	2.4	7.3	68.3	9.8
東北	71	32.4	49.3	15.5	1.4	1.4	81.7	2.8
関東	349	34.4	39.8	19.5	2.0	4.3	74.2	6.3
中部	168	31.5	38.1	22.6	2.4	5.4	69.6	7.7
近畿	176	35.8	40.3	18.2	1.7	4.0	76.1	5.7
中国	54	29.6	40.7	24.1	1.9	3.7	70.4	5.6
四国	30	30.0	53.3	13.3	3.3	0.0	83.3	3.3
九州	111	24.3	53.2	14.4	4.5	3.6	77.5	8.1
参考: 2023年10月(総数)	1,000	35.7	40.9	18.0	2.2	3.2	76.6	5.4

親しみを感ずる理由

問 8 親しみを感ずる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾に対して「親しみを感ずる」、「どちらかというと親しみを感ずる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「台湾人が親切、友好的」をあげた者の割合が最も高く 72.3%だった。以下、「歴史的に交流が長い」40.5%、「経済的な結びつきが強い」31.4%、「地震や台風、コロナ等の災害発生時に支援を行ったから」28.2%、「文化面での共通性がある」26.3%、「日本語が話せる台湾人が多いから」25.6%、「漢字を使っているから」7.4%、「台湾製の商品を愛用しているから」4.4%の順となっている。

性別にみると、「経済的な結びつきが強い」をあげた者の割合は男性で 42.6%、女性で 20.1%となっており、男性で高い。

年代別にみると、70 歳代以上では「歴史的に交流が長い」が 5 割台を超え、20 歳代から 60 歳代と比べ高くなっている。

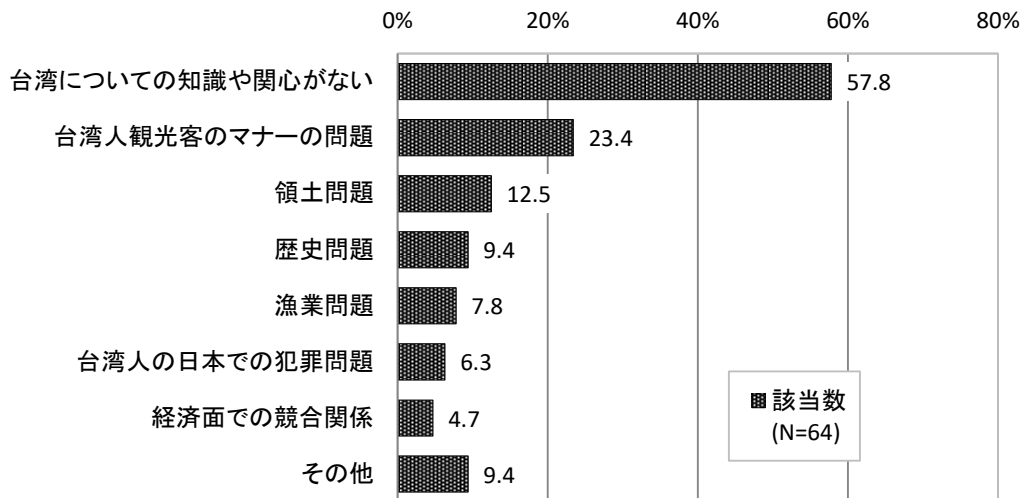
		該当数	台湾人が親切、友好的	経済的な結びつきが強い	文化面での共通性がある	歴史的に交流が長い	地震や台風、コロナ等の災害発生時に支援を行ったから	台湾製の商品を愛用しているから	漢字を使っているから
総数		745	72.3	31.4	26.3	40.5	28.2	4.4	7.4
性別	男性	376	72.3	42.6	29.3	43.9	28.2	7.2	8.0
	女性	369	72.4	20.1	23.3	37.1	28.2	1.6	6.8
年代	20歳代	79	64.6	34.2	32.9	32.9	27.8	5.1	12.7
	30歳代	87	82.8	23.0	26.4	32.2	27.6	8.0	8.0
	40歳代	115	80.0	24.3	25.2	36.5	26.1	4.3	8.7
	50歳代	136	75.0	28.7	26.5	28.7	24.3	5.1	3.7
	60歳代	114	72.8	28.1	26.3	47.4	34.2	2.6	3.5
	70歳代	130	68.5	37.7	22.3	51.5	30.0	2.3	8.5
	80歳代	84	59.5	46.4	27.4	54.8	27.4	4.8	9.5
最終学歴	中学校	15	66.7	26.7	13.3	40.0	26.7	6.7	0.0
	高等学校	197	69.5	33.5	25.9	36.0	29.9	4.1	8.6
	短大・高専・専門学校	156	69.9	21.2	20.5	35.9	30.8	2.6	5.1
	大学・大学院	377	75.1	34.7	29.4	44.8	26.3	5.3	8.0
職業	事務職	147	70.7	27.2	25.2	38.8	27.9	4.1	6.1
	管理職	53	79.2	41.5	34.0	35.8	18.9	5.7	3.8
	専門的・技術職	101	78.2	25.7	30.7	38.6	18.8	4.0	7.9
	販売・サービス職	70	77.1	24.3	27.1	32.9	37.1	7.1	10.0
	技能・労務職	39	74.4	43.6	20.5	25.6	33.3	7.7	15.4
	農林漁業	4	50.0	75.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	164	73.8	20.7	23.8	43.3	29.3	3.0	6.1
	学生	7	71.4	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3
	無職	160	64.4	46.3	24.4	48.8	31.9	4.4	7.5
	北海道	28	78.6	35.7	21.4	42.9	32.1	7.1	10.7
地域	東北	58	70.7	36.2	25.9	41.4	27.6	3.4	5.2
	関東	259	76.4	34.0	28.2	39.4	32.8	4.6	8.1
	中部	117	70.9	31.6	24.8	41.0	28.2	2.6	9.4
	近畿	134	73.9	23.1	24.6	41.8	28.4	4.5	3.7
	中国	38	63.2	42.1	23.7	26.3	13.2	5.3	7.9
	四国	25	80.0	32.0	24.0	44.0	24.0	0	0
	九州	86	60.5	26.7	29.1	45.3	20.9	7	10.5
参考：2023年10月（総数）		766	74.4	33.9	27.4	41.1	23.9※	4.6	8.7

※2023年調査では「地震やコロナ等の災害発生時に支援を行ったから」

		該当数	日本語が話せる台湾人が多いから	その他
総数		745	25.6	2.7
性別	男性	376	23.7	1.6
	女性	369	27.6	3.8
年代	20歳代	79	19.0	2.5
	30歳代	87	20.7	0.0
	40歳代	115	27.8	3.5
	50歳代	136	22.8	2.2
	60歳代	114	22.8	1.8
	70歳代	130	26.9	4.6
	80歳代	84	40.5	3.6
最終学歴	中学校	15	20.0	6.7
	高等学校	197	25.9	4.6
	短大・高専・専門学校	156	26.3	1.9
	大学・大学院	377	25.5	1.9
職業	事務職	147	19.0	0.7
	管理職	53	17.0	1.9
	専門的・技術職	101	26.7	3.0
	販売・サービス職	70	28.6	2.9
	技能・労務職	39	17.9	2.6
	農林漁業	4	25.0	25.0
	主婦・主夫	164	31.7	3.7
	学生	7	14.3	0.0
	無職	160	28.8	3.1
	北海道	28	35.7	0.0
地域	東北	58	31.0	5.2
	関東	259	24.3	2.7
	中部	117	23.9	0.9
	近畿	134	23.9	1.5
	中国	38	34.2	2.6
	四国	25	28.0	4.0
	九州	86	23.3	5.8
参考：2023年10月（総数）		766	25.1	3.1

親しみを感しない理由

問9 親しみを感しない理由は何ですか。(複数回答可)

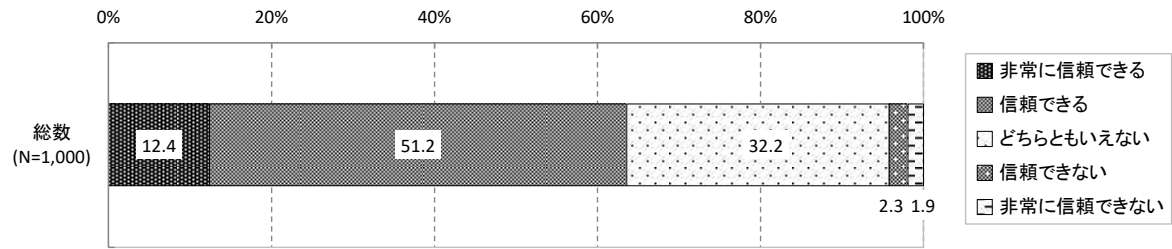


台湾に対して「どちらかというと親しみを感しない」、「親しみを感しない」と答えた者(64人)に、その理由を聞いたところ、「台湾についての知識や関心がない」をあげた者の割合が 57.8% (37人) で最も高く、以下、「台湾人観光客のマナーの問題」23.4% (15人)、「領土問題」12.5% (8人)、「歴史問題」9.4% (6人)、「漁業問題」7.8% (5人)、「台湾人の日本での犯罪問題」6.3% (4人)、「経済面での競合関係」4.7% (3人) の順となっている。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	台湾人の日本での犯罪問題	台湾人観光客のマナーの問題	台湾についての知識や関心がない	その他
性別	総数	64	7.8	4.7	12.5	9.4	6.3	23.4	57.8	9.4
	男性	32	3.1	0.0	15.6	6.3	0.0	12.5	59.4	12.5
年代	女性	32	12.5	9.4	9.4	12.5	12.5	34.4	56.3	6.3
	20歳代	15	6.7	6.7	26.7	6.7	6.7	13.3	73.3	6.7
	30歳代	13	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4	61.5	7.7
	40歳代	13	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	30.8	38.5	23.1
	50歳代	7	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9	42.9	0.0
	60歳代	10	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	80.0	0.0
	70歳代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0
	80歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
最終学歴	中学校	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	高等学校	24	8.3	4.2	8.3	8.3	4.2	25.0	58.3	8.3
	短大・高専・専門学校	20	10.0	5.0	10.0	10.0	10.0	25.0	55.0	10.0
	大学・大学院	18	5.6	5.6	22.2	11.1	5.6	16.7	61.1	11.1
職業	事務職	10	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	70.0	10.0
	管理職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	専門的・技術職	8	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	50.0	12.5
	販売・サービス職	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	技能・労務職	9	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	66.7	11.1
	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	19	10.5	15.8	10.5	21.1	15.8	47.4	57.9	0.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	11	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	54.5	9.1
	北海道	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
地域	東北	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	関東	22	9.1	9.1	22.7	18.2	9.1	36.4	54.5	13.6
	中部	13	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	23.1	53.8	7.7
	近畿	10	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	70.0	0.0
	中国	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	四国	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	九州	9	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	44.4	11.1
参考:2023年10月(総数)		54	1.9	1.9	7.4	5.6	7.4	9.3	79.6	7.4

台湾に対する信頼

問10 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



台湾は信頼できるか聞いたところ、「非常に信頼できる」と答えたのは12.4%、「信頼できる」と答えたのは51.2%、「どちらともいえない」と答えたのは32.2%、「信頼できない」と答えたのは2.3%、「非常に信頼できない」と答えたのは1.9%だった。

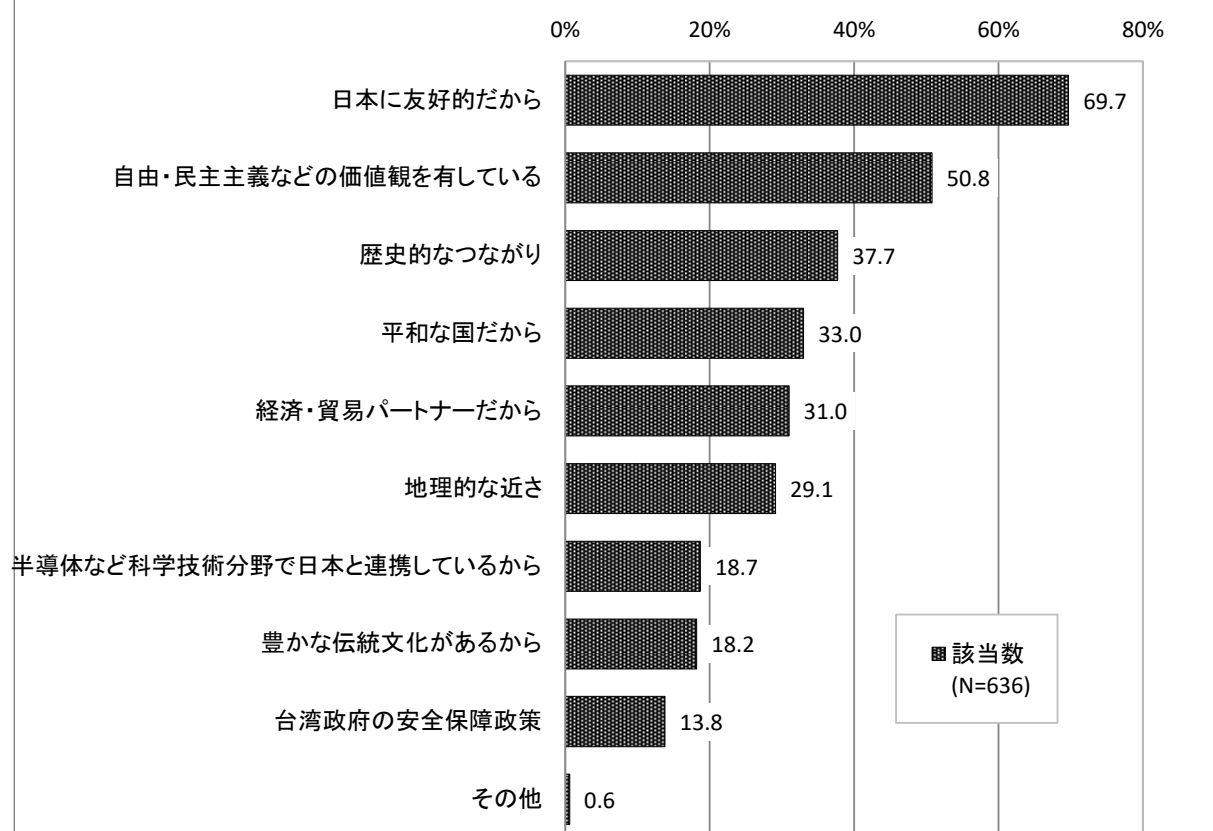
小計でみると、「信頼できる(計)」(「非常に信頼できる」+「信頼できる」)と答えた者の割合は63.6%と6割を超えており、「信頼できない(計)」(「信頼できない」+「非常に信頼できない」)と答えた者は4.2%で、少数となっている。

性別にみると、男性で「信頼できる(計)」が69.5%、女性で57.9%となっており、男性で高い。

	総数	非常に信頼できる	信頼できる	どちらともいえない	信頼できない	非常に信頼できない	信頼できる(計)	信頼できない(計)
総数	1,000	12.4	51.2	32.2	2.3	1.9	63.6	4.2
性別								
男性	489	16.0	53.6	26.8	1.6	2.0	69.5	3.7
女性	511	9.0	48.9	37.4	2.9	1.8	57.9	4.7
年代								
20歳代	118	16.1	39.0	39.0	2.5	3.4	55.1	5.9
30歳代	127	17.3	44.1	29.9	3.9	4.7	61.4	8.7
40歳代	160	12.5	45.6	35.6	3.1	3.1	58.1	6.3
50歳代	186	12.4	44.6	40.3	1.6	1.1	57.0	2.7
60歳代	147	6.8	56.5	34.0	2.0	0.7	63.3	2.7
70歳代	162	12.3	63.0	22.8	1.2	0.6	75.3	1.9
80歳代	100	10.0	69.0	19.0	2.0	0.0	79.0	2.0
最終学歴								
中学校	24	8.3	45.8	41.7	4.2	0.0	54.2	4.2
高等学校	292	8.6	51.0	34.2	3.8	2.4	59.6	6.2
短大・高専・専門学校	217	9.7	47.0	38.2	1.4	3.7	56.7	5.1
大学・大学院	467	16.3	53.5	27.6	1.7	0.9	69.8	2.6
職業								
事務職	180	16.7	48.3	33.3	0.6	1.1	65.0	1.7
管理職	66	21.2	43.9	31.8	1.5	1.5	65.2	3.0
専門的・技術職	126	13.5	49.2	31.7	4.0	1.6	62.7	5.6
販売・サービス職	95	8.4	57.9	31.6	2.1	0.0	66.3	2.1
技能・労務職	65	12.3	38.5	40.0	6.2	3.1	50.8	9.2
農林漁業	6	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7
主婦・主夫	239	8.4	50.2	34.7	3.3	3.3	58.6	6.7
学生	9	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
無職	214	12.1	58.4	27.1	0.9	1.4	70.6	2.3
地域								
北海道	41	12.2	41.5	36.6	4.9	4.9	53.7	9.8
東北	71	12.7	64.8	19.7	2.8	0.0	77.5	2.8
関東	349	12.9	50.4	32.1	2.3	2.3	63.3	4.6
中部	168	10.7	49.4	35.1	2.4	2.4	60.1	4.8
近畿	176	14.8	48.9	34.1	0.0	2.3	63.6	2.3
中国	54	11.1	50.0	38.9	0.0	0.0	61.1	0.0
四国	30	3.3	70.0	23.3	3.3	0.0	73.3	3.3
九州	111	12.6	50.5	30.6	5.4	0.9	63.1	6.3
参考: 2023年10月(総数)	1,000	12.3	52.7	32.6	1.6	0.8	65.0	2.4

信頼できる理由

問 1 1 信頼できる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾は「非常に信頼できる」、「信頼できる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「日本に友好的だから」をあげた者の割合が最も高く、69.7%だった。以下、「自由・民主主義などの価値観を有している」50.8%、「歴史的なつながり」37.7%、「平和な国だから」33.0%、「経済・貿易パートナーだから」31.0%、「地理的な近さ」29.1%、「半導体など科学技術分野で日本と連携しているから」18.7%、「豊かな伝統文化があるから」18.2%、「台湾政府の安全保障政策」13.8%の順となっている。

性別にみると、男性では「自由・民主主義などの価値観を有している」、「経済・貿易パートナーだから」をあげた者の割合が高い。

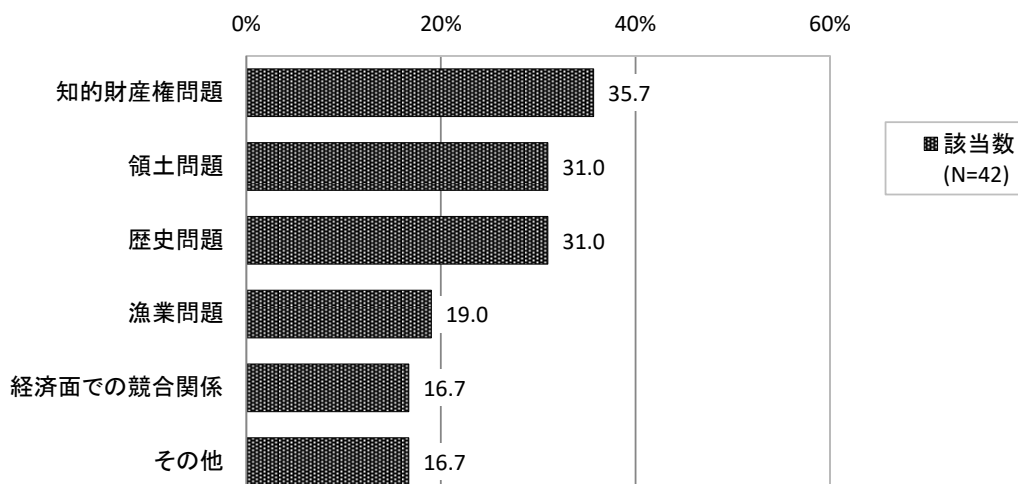
年代別にみると、「自由・民主主義などの価値観を有している」をあげた者の割合が70歳代以上で6割を超え高い。「平和な国だから」は20歳代で49.2%と高くなっている。

		該当数	自由・民主主義などの価値観を有している	平和な国だから	経済・貿易パートナーだから	台湾政府の安全保障政策	豊かな伝統文化があるから	地理的な近さ	歴史的なつながり
総数		636	50.8	33.0	31.0	13.8	18.2	29.1	37.7
性別	男性	340	60.3	33.2	40.3	17.6	18.2	31.5	38.5
	女性	296	39.9	32.8	20.3	9.5	18.2	26.4	36.8
年代	20歳代	65	41.5	49.2	33.8	6.2	23.1	26.2	26.2
	30歳代	78	32.1	39.7	25.6	15.4	14.1	30.8	28.2
	40歳代	93	49.5	35.5	24.7	17.2	17.2	25.8	34.4
	50歳代	106	46.2	34.0	33.0	14.2	14.2	25.5	26.4
	60歳代	93	52.7	32.3	37.6	11.8	18.3	29.0	39.8
	70歳代	122	61.5	23.8	29.5	13.9	19.7	27.9	51.6
	80歳代	79	65.8	24.1	32.9	16.5	22.8	40.5	51.9
最終学歴	中学校	13	46.2	23.1	30.8	30.8	7.7	38.5	30.8
	高等学校	174	48.9	33.9	29.3	12.6	17.8	28.2	39.1
	短大・高専・専門学校	123	40.7	31.7	17.1	13.0	19.5	23.6	34.1
	大学・大学院	326	55.8	33.4	37.1	14.1	18.4	31.3	38.7
職業	事務職	117	40.2	47.9	25.6	6.8	17.9	23.1	27.4
	管理職	43	65.1	20.9	39.5	16.3	18.6	16.3	37.2
	専門的・技術職	79	49.4	39.2	30.4	15.2	17.7	30.4	39.2
	販売・サービス職	63	42.9	34.9	31.7	17.5	22.2	28.6	28.6
	技能・労務職	33	57.6	30.3	39.4	21.2	15.2	36.4	30.3
	農林漁業	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	75.0
	主婦・主夫	140	45.7	30.7	22.1	12.1	20.7	25.7	44.3
	学生	6	33.3	50.0	50.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	無職	151	62.3	23.2	38.4	16.6	15.9	37.1	43.7
	北海道	22	59.1	22.7	36.4	9.1	22.7	31.8	45.5
地域	東北	55	54.5	23.6	45.5	9.1	7.3	25.5	41.8
	関東	221	52.0	37.6	32.6	16.7	20.8	26.7	39.4
	中部	101	48.5	30.7	27.7	13.9	19.8	33.7	35.6
	近畿	112	47.3	33.0	27.7	13.4	18.8	28.6	30.4
	中国	33	54.5	24.2	18.2	12.1	9.1	30.3	36.4
	四国	22	68.2	31.8	27.3	9.1	13.6	27.3	22.7
	九州	70	42.9	37.1	30.0	12.9	20.0	32.9	47.1
参考:2023年10月(総数)		650	55.1	34.8	29.2	16.9	17.1	23.8	35.5

		該当数	日本に友好的だから	半導体など科学技術分野で日本と連携しているから	その他
総数		636	69.7	18.7	0.6
性別	男性	340	67.6	22.6	0.6
	女性	296	72.0	14.2	0.7
年代	20歳代	65	50.8	7.7	1.5
	30歳代	78	60.3	12.8	1.3
	40歳代	93	72.0	18.3	0.0
	50歳代	106	67.9	15.1	0.0
	60歳代	93	73.1	15.1	0.0
	70歳代	122	77.0	29.5	0.8
	80歳代	79	78.5	26.6	1.3
最終学歴	中学校	13	92.3	23.1	0.0
	高等学校	174	71.3	19.5	0.6
	短大・高専・専門学校	123	68.3	12.2	0.8
	大学・大学院	326	68.4	20.6	0.6
職業	事務職	117	65.0	12.8	0.0
	管理職	43	67.4	4.7	0.0
	専門的・技術職	79	60.8	19.0	1.3
	販売・サービス職	63	66.7	19.0	1.6
	技能・労務職	33	63.6	21.2	0.0
	農林漁業	4	100.0	25.0	0.0
	主婦・主夫	140	79.3	17.9	0.0
	学生	6	50.0	16.7	0.0
	無職	151	72.2	27.2	1.3
	北海道	22	81.8	31.8	4.5
地域	東北	55	74.5	21.8	1.8
	関東	221	71.0	21.3	0.9
	中部	101	67.3	18.8	0.0
	近畿	112	68.8	16.1	0.0
	中国	33	60.6	12.1	0.0
	四国	22	72.7	4.5	0.0
	九州	70	65.7	15.7	0.0
参考:2023年10月(総数)		650	62.2	-	1.1

信頼できない理由

問 1 2 信頼できない理由は何ですか。(複数回答可)

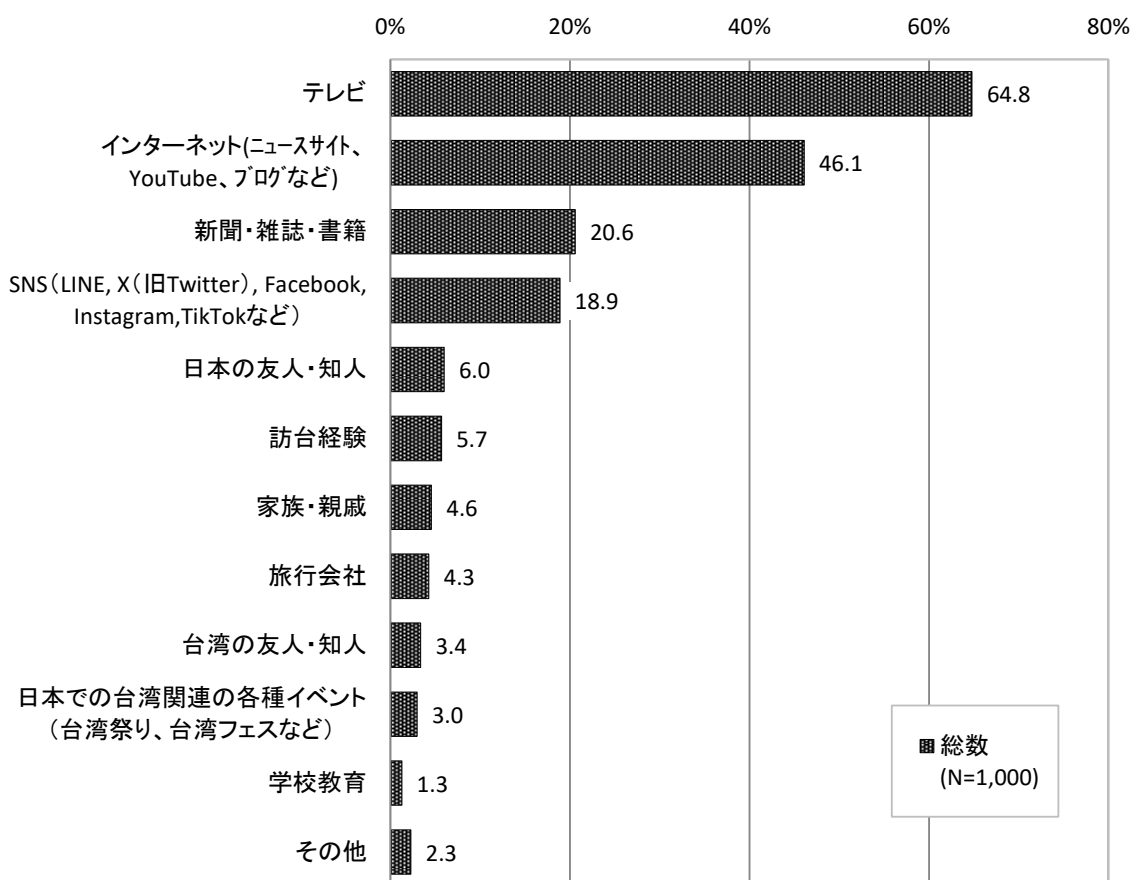


台湾は「信頼できない」、「非常に信頼できない」と答えた者（42 人）に、その理由を聞いたところ、「知的財産権問題」をあげた者の割合が最も高く、35.7%（15 人）だった。以下、「領土問題」、「歴史問題」が同数で 31.0%（13 人）、「漁業問題」19.0%（8 人）、「経済面での競合関係」16.7%（7 人）の順となっている。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	その他
総数		42	19.0	16.7	31.0	31.0	35.7	16.7
性別	男性	18	11.1	0.0	27.8	27.8	27.8	27.8
	女性	24	25.0	29.2	33.3	33.3	41.7	8.3
年代	20歳代	7	28.6	14.3	57.1	42.9	14.3	28.6
	30歳代	11	18.2	9.1	18.2	9.1	45.5	9.1
	40歳代	10	20.0	30.0	20.0	40.0	20.0	20.0
	50歳代	5	20.0	20.0	0.0	60.0	80.0	0.0
	60歳代	4	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	70歳代	3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3
	80歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
最終学歴	中学校	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	高等学校	18	22.2	11.1	27.8	27.8	44.4	22.2
	短大・高専・専門学校	11	18.2	9.1	27.3	27.3	45.5	18.2
	大学・大学院	12	16.7	33.3	41.7	33.3	8.3	8.3
職業	事務職	3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3
	管理職	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	7	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3
	販売・サービス職	2	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0
	技能・労務職	6	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3	16.7
	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫	16	25.0	31.3	31.3	43.8	56.3	6.3
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0
地域	北海道	4	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0
	東北	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	関東	16	18.8	18.8	31.3	50.0	43.8	12.5
	中部	8	12.5	0.0	62.5	25.0	12.5	12.5
	近畿	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	中国	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	四国	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	九州	7	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3
参考：2023年10月（総数）		24	8.3	20.8	20.8	29.2	25.0	16.7

台湾に関する情報源

問 1 3 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。（複数回答可）



台湾に関する情報源について聞いたところ、「テレビ」をあげた者の割合が最も高く、64.8%だった。以下、「インターネット（ニュースサイト、YouTube、ブログなど）」46.1%、「新聞・雑誌・書籍」20.6%、「SNS（LINE, X（旧 Twitter）, Facebook, Instagram, TikTok など）」18.9%、「日本の友人・知人」6.0%、「訪台経験」5.7%、「家族・親戚」4.6%、「旅行会社」4.3%、「台湾の友人・知人」3.4%、「日本での台湾関連の各種イベント（台湾祭り、台湾フェス）」3.0%、「学校教育」1.3%の順となっている。

性別にみると、「インターネット」をあげた者の割合は男性で 55.8%、女性で 36.8%と、男性で高くなっている。

年代別にみると、20 歳代では「SNS（LINE, X（旧 Twitter）, Facebook, Instagram, TikTok など）」をあげた者の割合は 49.2%と高く、「テレビ」と同じであった。「新聞・雑誌・書籍」をあげた者の割合は、60 歳代以上で 3 割を超え高い。

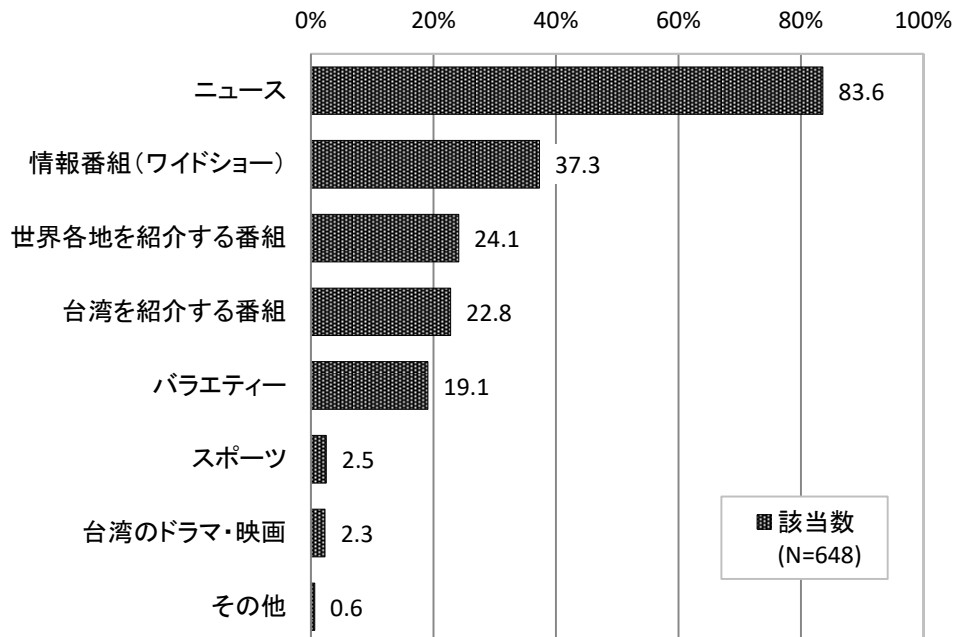
		総数	テレビ	インター ネット(ニュースサイ ト、YouTube、プロ グなど)	SNS (LINE、X(旧 Twitter)、 Facebook、 Instagram、TikTok など)	新聞・ 雑誌・ 書籍	訪台経験	家族・親戚	台湾の 友人・知人
総数		1,000	64.8	46.1	18.9	20.6	5.7	4.6	3.4
性別	男性	489	65.6	55.8	16.8	24.5	6.1	3.7	2.7
	女性	511	64.0	36.8	20.9	16.8	5.3	5.5	4.1
年代	20歳代	118	49.2	37.3	49.2	5.1	1.7	5.9	4.2
	30歳代	127	47.2	48.8	31.5	9.4	4.7	6.3	1.6
	40歳代	160	63.8	48.1	22.5	9.4	3.1	5.0	4.4
	50歳代	186	67.2	51.1	12.9	11.8	2.2	3.2	3.2
	60歳代	147	72.8	49.0	10.9	33.3	4.8	2.7	4.1
	70歳代	162	76.5	40.1	5.6	34.6	10.5	3.1	2.5
	80歳代	100	72.0	46.0	6.0	46.0	16.0	8.0	4.0
最終 学歴	中学校	24	66.7	41.7	20.8	8.3	0.0	0.0	0.0
	高等学校	292	66.8	44.5	14.0	20.9	4.5	5.8	1.7
	短大・高専・専門学校	217	64.1	37.3	18.4	18.9	4.1	4.6	3.7
	大学・大学院	467	63.8	51.4	22.1	21.8	7.5	4.1	4.5
職業	事務職	180	64.4	44.4	30.0	15.0	2.2	4.4	2.2
	管理職	66	66.7	59.1	15.2	24.2	10.6	3.0	6.1
	専門的・技術職	126	54.0	50.0	27.8	18.3	4.8	5.6	7.1
	販売・サービス職	95	60.0	52.6	24.2	11.6	2.1	4.2	4.2
	技能・労務職	65	60.0	49.2	13.8	16.9	4.6	7.7	0.0
	農林漁業	6	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	239	70.3	36.4	12.6	20.9	5.9	5.0	2.5
	学生	9	33.3	44.4	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	214	69.6	47.7	10.3	30.8	9.8	3.7	3.3
地域	北海道	41	70.7	36.6	19.5	22.0	4.9	4.9	2.4
	東北	71	62.0	56.3	12.7	21.1	5.6	8.5	1.4
	関東	349	63.9	43.8	17.8	19.8	6.3	3.7	4.0
	中部	168	66.7	47.0	18.5	28.0	6.0	3.6	2.4
	近畿	176	65.3	47.2	23.3	17.0	5.1	2.8	3.4
	中国	54	66.7	64.8	18.5	25.9	3.7	7.4	5.6
	四国	30	63.3	50.0	23.3	13.3	13.3	10.0	0.0
	九州	111	63.1	36.9	18.9	16.2	3.6	6.3	4.5
参考: 2023年10月(総数)		1,000	68.6	47.8	16.7※	21.3	5.3	4.1	4.1

※2023年調査では「SNS(LINE、X(旧Twitter)、Facebook、Instagramなど)」

		総数	日本の 友人・知人	学校教育	日本での 台湾関連の 各種イベント (台湾祭り、台湾 フェスなど)	旅行会社	その他
総数		1,000	6.0	1.3	3.0	4.3	2.3
性別	男性	489	5.9	2.0	2.9	3.9	2.0
	女性	511	6.1	0.6	3.1	4.7	2.5
年代	20歳代	118	3.4	4.2	3.4	4.2	5.1
	30歳代	127	7.1	0.8	2.4	3.1	2.4
	40歳代	160	8.1	2.5	4.4	3.1	2.5
	50歳代	186	6.5	1.1	2.2	2.2	2.2
	60歳代	147	5.4	0.0	2.7	6.1	1.4
	70歳代	162	7.4	0.6	1.2	6.2	1.2
	80歳代	100	2.0	0.0	6.0	6.0	2.0
最終 学歴	中学校	24	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3
	高等学校	292	4.8	0.7	1.7	5.8	2.4
	短大・高専・専門学校	217	7.4	0.9	2.8	4.6	3.7
	大学・大学院	467	6.4	1.9	3.9	3.4	1.3
職業	事務職	180	3.9	1.7	2.8	1.1	1.7
	管理職	66	10.6	1.5	3.0	6.1	1.5
	専門的・技術職	126	11.1	2.4	3.2	0.8	2.4
	販売・サービス職	95	8.4	0.0	2.1	5.3	4.2
	技能・労務職	65	4.6	3.1	1.5	4.6	0.0
	農林漁業	6	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0
	主婦・主夫	239	6.3	0.8	3.8	7.1	2.1
	学生	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	214	2.3	0.5	2.8	4.7	3.3
地域	北海道	41	4.9	0.0	0.0	2.4	7.3
	東北	71	5.6	1.4	2.8	4.2	4.2
	関東	349	6.3	1.4	4.0	4.0	2.9
	中部	168	7.1	1.8	3.6	4.8	1.2
	近畿	176	5.7	0.6	3.4	5.1	1.1
	中国	54	1.9	1.9	0.0	3.7	1.9
	四国	30	6.7	0.0	0.0	3.3	3.3
	九州	111	6.3	1.8	1.8	4.5	0.9
参考: 2023年10月(総数)		1,000	7.3	1.9	2.7	7.1	2.2

台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル

問 1 4 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。
(複数回答可)



台湾に関する情報源として「テレビ」をあげた者に、どのような番組で台湾に関する情報を得ているか聞いたところ、「ニュース」の割合が最も高く、83.6%だった。以下、「情報番組(ワイドショー)」37.3%、「世界各地を紹介する番組」24.1%、「台湾を紹介する番組」22.8%、「バラエティー」19.1%、「スポーツ」2.5%、「台湾のドラマ・映画」2.3%の順となっている。

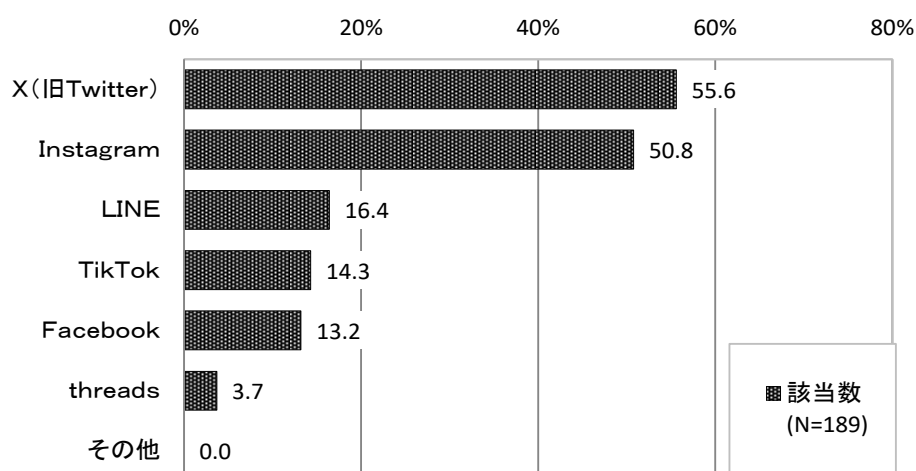
年代別にみると、すべての年代で「ニュース」が1位となっている。「バラエティー」をあげた者の割合は20歳代と30歳代で3割を超え高くなっている。

		該当数	ニュース	情報番組(ワイドショー)	バラエティー	世界各地を紹介する番組	台湾を紹介する番組	台湾のドラマ・映画
総数		648	83.6	37.3	19.1	24.1	22.8	2.3
性別	男性	321	86.0	39.6	18.7	23.7	24.6	2.2
	女性	327	81.3	35.2	19.6	24.5	21.1	2.4
年代	20歳代	58	77.6	31.0	31.0	22.4	15.5	3.4
	30歳代	60	81.7	30.0	31.7	25.0	10.0	1.7
	40歳代	102	82.4	32.4	24.5	25.5	16.7	2.9
	50歳代	125	75.2	38.4	24.8	19.2	16.0	0.8
	60歳代	107	87.9	39.3	15.0	27.1	30.8	1.9
	70歳代	124	91.1	42.7	8.9	22.6	29.8	3.2
	80歳代	72	87.5	41.7	5.6	29.2	36.1	2.8
最終学歴	中学校	16	87.5	31.3	0.0	25.0	12.5	0.0
	高等学校	195	85.6	39.0	18.5	21.0	21.5	3.1
	短大・高専・専門学校	139	71.2	39.6	24.5	26.6	25.2	2.9
	大学・大学院	298	87.9	35.6	18.1	24.8	23.2	1.7
職業	事務職	116	85.3	32.8	21.6	26.7	17.2	0.9
	管理職	44	88.6	29.5	18.2	25.0	29.5	6.8
	専門的・技術職	68	76.5	33.8	27.9	23.5	19.1	1.5
	販売・サービス職	57	75.4	40.4	29.8	24.6	19.3	0.0
	技能・労務職	39	79.5	51.3	23.1	25.6	7.7	0.0
	農林漁業	4	100.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	主婦・主夫	168	78.6	38.7	19.0	26.2	28.6	3.0
	学生	3	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	無職	149	94.0	38.9	8.1	20.1	26.2	3.4
	北海道	29	82.8	62.1	20.7	27.6	20.7	0.0
地域	東北	44	88.6	31.8	13.6	20.5	20.5	0.0
	関東	223	83.4	34.1	18.4	24.2	22.9	2.2
	中部	112	80.4	37.5	19.6	23.2	22.3	2.7
	近畿	115	86.1	37.4	17.4	24.3	22.6	2.6
	中国	36	86.1	41.7	25.0	22.2	25.0	5.6
	四国	19	73.7	26.3	15.8	21.1	21.1	5.3
	九州	70	84.3	41.4	24.3	27.1	25.7	1.4
参考: 2023年10月(総数)		686	81.3	42.6	23.6	32.1	24.6	5.4

		該当数	スポーツ	その他
総数		648	2.5	0.6
性別	男性	321	4.7	0.3
	女性	327	0.3	0.9
年代	20歳代	58	1.7	1.7
	30歳代	60	5.0	0.0
	40歳代	102	2.0	0.0
	50歳代	125	2.4	0.0
	60歳代	107	1.9	0.0
	70歳代	124	1.6	0.8
	80歳代	72	4.2	2.8
最終学歴	中学校	16	0.0	0.0
	高等学校	195	0.5	1.5
	短大・高専・専門学校	139	3.6	0.0
	大学・大学院	298	3.4	0.3
職業	事務職	116	1.7	0.9
	管理職	44	6.8	0.0
	専門的・技術職	68	1.5	0.0
	販売・サービス職	57	1.8	0.0
	技能・労務職	39	5.1	0.0
	農林漁業	4	0.0	0.0
	主婦・主夫	168	1.2	1.2
	学生	3	0.0	0.0
	無職	149	3.4	0.7
	北海道	29	3.4	0.0
地域	東北	44	2.3	0.0
	関東	223	4.0	0.9
	中部	112	0.9	0.0
	近畿	115	2.6	0.0
	中国	36	2.8	0.0
	四国	19	0.0	0.0
	九州	70	0.0	2.9
参考: 2023年10月(総数)		686	2.0	0.0

台湾に関する情報源となっているSNS

問15 あなたは、どのようなSNSで台湾に関する情報を得ていますか。
(複数回答可)



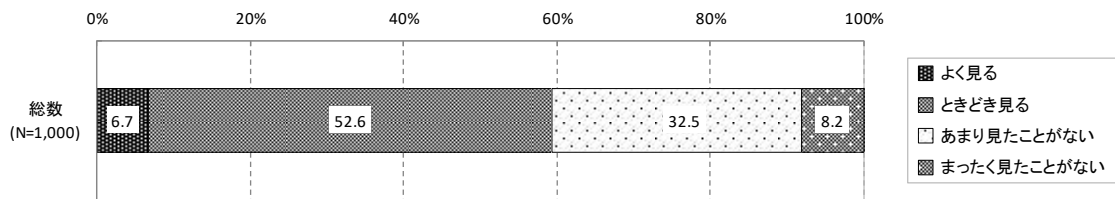
台湾に関する情報源として「SNS」をあげた者に、どのようなSNSで台湾に関する情報を得ているか聞いたところ、「x（旧Twitter）」をあげた者の割合が最も高く、55.6%だった。以下、「Instagram」50.8%、「LINE」16.4%、「TikTok」14.3%、「Facebook」13.2%、「threads」3.7%の順となっている。

性別にみると、「Instagram」をあげた者の割合は女性で59.8%、男性で39.0%となっており、女性で高い。

		該当数	LINE	X(旧Twitter)	Facebook	Instagram	threads	TikTok	その他
総数		189	16.4	55.6	13.2	50.8	3.7	14.3	0.0
性別	男性	82	24.4	61.0	23.2	39.0	3.7	20.7	0.0
	女性	107	10.3	51.4	5.6	59.8	3.7	9.3	0.0
年代	20歳代	58	15.5	67.2	5.2	48.3	6.9	15.5	0.0
	30歳代	40	22.5	67.5	10.0	45.0	0.0	5.0	0.0
	40歳代	36	13.9	50.0	13.9	72.2	0.0	13.9	0.0
	50歳代	24	12.5	41.7	12.5	50.0	12.5	16.7	0.0
	60歳代	16	18.8	37.5	37.5	43.8	0.0	25.0	0.0
	70歳代	9	22.2	22.2	44.4	22.2	0.0	11.1	0.0
	80歳代	6	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最終学歴	中学校	5	20.0	80.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0
	高等学校	41	17.1	48.8	14.6	43.9	4.9	22.0	0.0
	短大・高専・専門学校	40	12.5	52.5	12.5	52.5	2.5	12.5	0.0
	大学・大学院	103	17.5	58.3	13.6	53.4	3.9	10.7	0.0
職業	事務職	54	22.2	64.8	11.1	48.1	5.6	13.0	0.0
	管理職	10	60.0	40.0	40.0	70.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	35	14.3	42.9	17.1	51.4	5.7	11.4	0.0
	販売・サービス職	23	8.7	73.9	13.0	39.1	4.3	13.0	0.0
	技能・労務職	9	22.2	44.4	11.1	77.8	0.0	33.3	0.0
	農林漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	30	3.3	43.3	10.0	53.3	0.0	10.0	0.0
	学生	6	0.0	83.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	無職	22	13.6	54.5	9.1	40.9	4.5	31.8	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域	北海道	8	25.0	62.5	25.0	75.0	12.5	25.0	0.0
	東北	9	11.1	66.7	11.1	55.6	0.0	22.2	0.0
	関東	62	16.1	67.7	11.3	51.6	4.8	11.3	0.0
	中部	31	6.5	48.4	9.7	45.2	3.2	16.1	0.0
	近畿	41	17.1	39.0	17.1	53.7	0.0	9.8	0.0
	中国	10	30.0	60.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	四国	7	0.0	57.1	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0
	九州	21	28.6	52.4	14.3	42.9	9.5	23.8	0.0

台湾に関する番組や報道を目にしたか

問16 近年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがありますか。(答えは1つ)



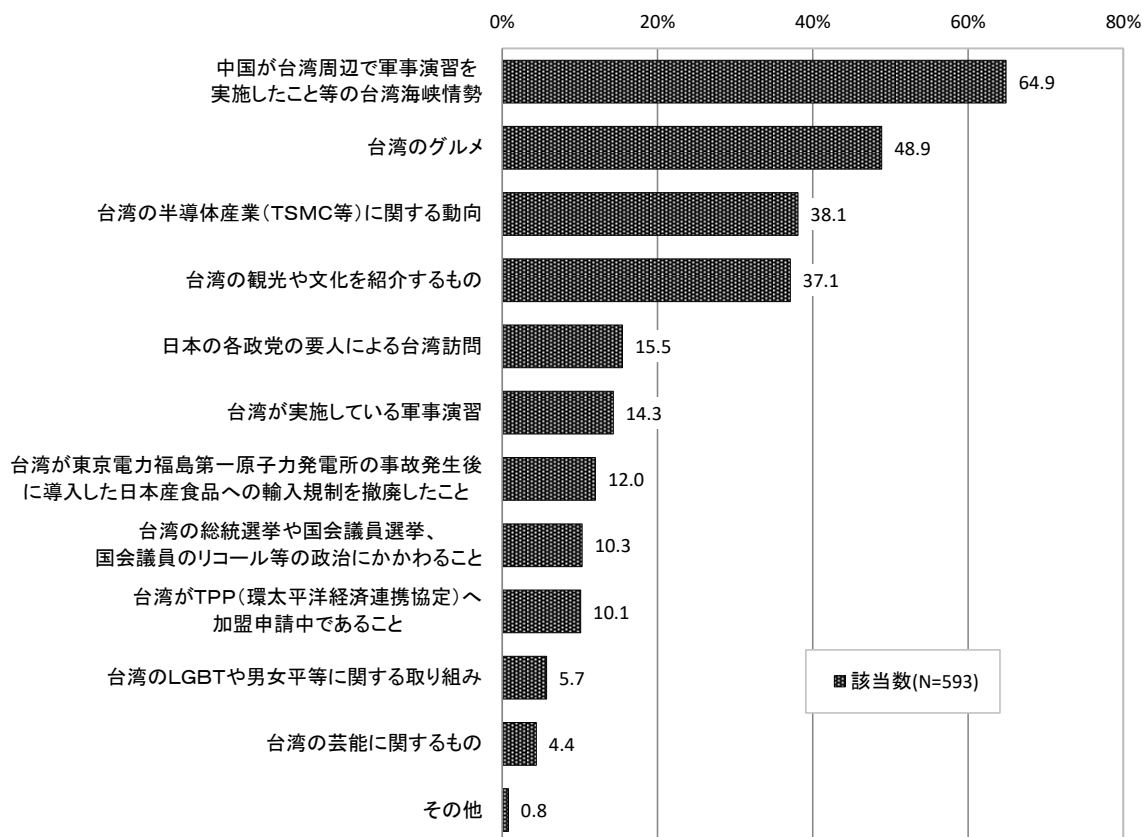
近年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがあるか聞いたところ、「よく見る」と答えたのは6.7%、「ときどき見る」と答えたのは52.6%、「あまり見たことがない」と答えたのは32.5%、「まったく見たことがない」と答えたのは8.2%だった。

小計でみると、「見たことがある(計)」「よく見る」+「ときどき見る」と答えた者の割合は59.3%、「見たことがない(計)」「あまり見たことがない」+「まったく見たことがない」は40.7%となっている。

		総数	よく見る	ときどき見る	あまり見たことがない	まったく見たことがない	見たことがある(計)	見たことがない(計)
総数		1,000	6.7	52.6	32.5	8.2	59.3	40.7
性別	男性	489	8.2	58.5	25.2	8.2	66.7	33.3
	女性	511	5.3	47.0	39.5	8.2	52.3	47.7
年代	20歳代	118	5.9	36.4	37.3	20.3	42.4	57.6
	30歳代	127	6.3	44.9	33.1	15.7	51.2	48.8
	40歳代	160	6.3	46.3	35.6	11.9	52.5	47.5
	50歳代	186	6.5	52.2	38.2	3.2	58.6	41.4
	60歳代	147	4.8	61.2	29.9	4.1	66.0	34.0
	70歳代	162	9.3	61.7	26.5	2.5	71.0	29.0
	80歳代	100	8.0	65.0	24.0	3.0	73.0	27.0
最終学歴	中学校	24	4.2	62.5	29.2	4.2	66.7	33.3
	高等学校	292	5.5	51.0	34.6	8.9	56.5	43.5
	短大・高専・専門学校	217	6.5	44.7	39.2	9.7	51.2	48.8
	大学・大学院	467	7.7	56.7	28.3	7.3	64.5	35.5
職業	事務職	180	7.8	53.3	29.4	9.4	61.1	38.9
	管理職	66	9.1	63.6	24.2	3.0	72.7	27.3
	専門的・技術職	126	7.9	50.0	32.5	9.5	57.9	42.1
	販売・サービス職	95	5.3	44.2	44.2	6.3	49.5	50.5
	技能・労務職	65	3.1	56.9	27.7	12.3	60.0	40.0
	農林漁業	6	0.0	50.0	33.3	16.7	50.0	50.0
	主婦・主夫	239	6.3	48.1	38.1	7.5	54.4	45.6
	学生	9	0.0	55.6	44.4	0.0	55.6	44.4
	無職	214	7.0	57.5	27.1	8.4	64.5	35.5
	北海道	41	4.9	56.1	29.3	9.8	61.0	39.0
地域	東北	71	5.6	49.3	39.4	5.6	54.9	45.1
	関東	349	7.2	53.3	30.9	8.6	60.5	39.5
	中部	168	4.8	50.0	34.5	10.7	54.8	45.2
	近畿	176	8.0	50.6	34.7	6.8	58.5	41.5
	中国	54	11.1	55.6	31.5	1.9	66.7	33.3
	四国	30	6.7	66.7	23.3	3.3	73.3	26.7
	九州	111	5.4	53.2	30.6	10.8	58.6	41.4
参考: 2023年10月(総数)		1,000	11.0	58.1	25.6	5.3	69.1	30.9

印象に残った台湾に関する報道

問 1 7 あなたは、どのような報道が強く印象に残りましたか。(複数回答可)



近年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがある者に、どのような報道が強く印象に残ったか聞いたところ、「中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢」をあげた者の割合が最も高く、64.9%だった。以下、「台湾のグルメ」48.9%、「台湾の半導体産業（TSMC 等）に関する動向」38.1%、「台湾の観光や文化を紹介するもの」37.1%、「日本の各政党の要人による台湾訪問」15.5%、「台湾が実施している軍事演習」14.3%、「台湾が東京電力福島第一原子力発電所の事故発生後に導入した日本産食品への輸入規制を撤廃したこと」12.0%、「台湾の総統選挙や国会議員選挙、国会議員のリコール等の政治にかかわること」10.3%、「台湾が TPP（環太平洋経済連携協定）へ加盟申請中であること」10.1%、「台湾の LGBT や男女平等に関する取り組み」5.7%、「台湾の芸能に関するもの」4.4%、となっている。

性別にみると、「中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢」、「台湾の半導体産業（TSMC 等）に関する動向」をあげた者の割合は男性で、「台湾のグルメ」、「台湾の観光や文化を紹介するもの」は女性で高くなっている。

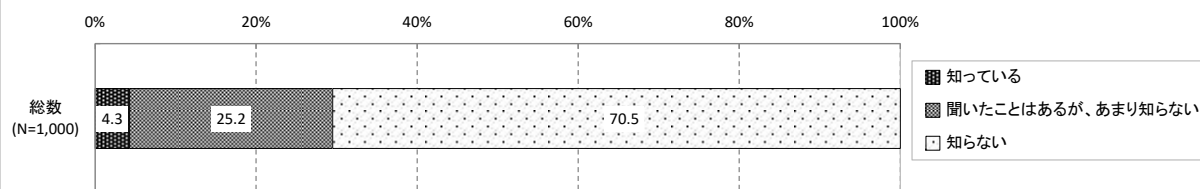
		該当数	中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢	日本の各政党の要人による台湾訪問	台湾の半導体産業（TSMC等）に関する動向	台湾がTPP（環太平洋経済連携協定）へ加盟申請中であること	台湾が実施している軍事演習	台湾の芸能に関するもの	台湾のLGBTや男女平等に関する取り組み
総数		593	64.9	15.5	38.1	10.1	14.3	4.4	5.7
性別	男性	326	73.9	16.9	46.0	11.0	14.7	5.2	6.4
	女性	267	53.9	13.9	28.5	9.0	13.9	3.4	4.9
年代	20歳代	50	34.0	24.0	10.0	14.0	6.0	10.0	16.0
	30歳代	65	58.5	15.4	35.4	15.4	9.2	3.1	4.6
	40歳代	84	64.3	16.7	32.1	9.5	11.9	8.3	1.2
	50歳代	109	59.6	12.8	32.1	9.2	11.0	3.7	6.4
	60歳代	97	70.1	8.2	37.1	6.2	17.5	1.0	5.2
	70歳代	115	80.9	14.8	51.3	9.6	21.7	2.6	5.2
	80歳代	73	68.5	23.3	56.2	11.0	16.4	5.5	5.5
	中学校	16	43.8	12.5	31.3	6.3	6.3	0.0	6.3
最終学歴	高等学校	165	64.8	13.3	33.9	9.1	12.1	3.0	4.8
	短大・高専・専門学校	111	56.8	15.3	31.5	9.0	17.1	2.7	3.6
	大学・大学院	301	69.1	16.9	43.2	11.3	15.0	6.0	7.0
	事務職	110	56.4	10.0	30.9	10.9	7.3	2.7	5.5
職業	管理職	48	72.9	14.6	39.6	14.6	12.5	6.3	6.3
	専門的・技術職	73	52.1	13.7	27.4	8.2	12.3	5.5	6.8
	販売・サービス職	47	68.1	19.1	38.3	12.8	12.8	8.5	6.4
	技能・労務職	39	66.7	20.5	38.5	10.3	15.4	0.0	7.7
	農林漁業	3	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	130	61.5	18.5	30.8	5.4	16.2	6.2	3.1
	学生	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	138	77.5	15.9	57.2	13.0	21.0	2.2	7.2
	北海道	25	56.0	16.0	44.0	8.0	20.0	4.0	0.0
	東北	39	69.2	10.3	46.2	15.4	28.2	0.0	7.7
地域	関東	211	69.2	16.6	42.7	9.5	14.7	4.7	5.2
	中部	92	66.3	15.2	34.8	8.7	16.3	3.3	4.3
	近畿	103	56.3	16.5	29.1	9.7	11.7	5.8	9.7
	中国	36	72.2	25.0	38.9	11.1	5.6	5.6	5.6
	四国	22	63.6	18.2	22.7	18.2	18.2	4.5	9.1
	九州	65	60.0	7.7	40.0	9.2	7.7	4.6	3.1
参考：2023年10月（総数）		691	72.5	16.4	38.1	18.1	19.4	4.5	2.7※

※2023年10月調査では「台湾のLGBTに関する取り組み」

		総数	台湾の観光や文化を紹介するもの	台湾のグルメ	台湾の総統選挙や国会議員選挙、国会議員のリコール等の政治にかかわること	台湾が東京電力福島第一原子力発電所の事故発生後に導入した日本産食品への輸入規制を撤廃したこと	その他
総数		593	37.1	48.9	10.3	12.0	0.8
性別	男性	326	32.5	43.9	13.2	11.7	0.0
	女性	267	42.7	55.1	6.7	12.4	1.9
年代	20歳代	50	32.0	38.0	18.0	0.0	4.0
	30歳代	65	35.4	44.6	4.6	3.1	0.0
	40歳代	84	28.6	35.7	10.7	10.7	1.2
	50歳代	109	25.7	55.0	2.8	3.7	1.8
	60歳代	97	43.3	61.9	11.3	20.6	0.0
	70歳代	115	40.0	44.3	16.5	13.9	0.0
	80歳代	73	56.2	56.2	9.6	27.4	0.0
	中学校	16	25.0	37.5	12.5	18.8	0.0
最終学歴	高等学校	165	42.4	51.5	6.1	9.7	0.0
	短大・高専・専門学校	111	44.1	54.1	7.2	9.9	1.8
	大学・大学院	301	32.2	46.2	13.6	13.6	1.0
	事務職	110	30.0	47.3	4.5	8.2	0.9
職業	管理職	48	22.9	39.6	12.5	8.3	0.0
	専門的・技術職	73	42.5	52.1	9.6	4.1	2.7
	販売・サービス職	47	40.4	55.3	10.6	17.0	2.1
	技能・労務職	39	30.8	38.5	10.3	2.6	0.0
	農林漁業	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	主婦・主夫	130	46.2	57.7	6.9	16.9	0.0
	学生	5	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0
	無職	138	36.2	44.9	17.4	16.7	0.0
	北海道	25	48.0	52.0	4.0	16.0	0.0
	東北	39	35.9	53.8	7.7	20.5	0.0
地域	関東	211	30.8	48.3	10.4	13.3	1.4
	中部	92	41.3	47.8	19.6	12.0	0.0
	近畿	103	40.8	54.4	8.7	11.7	1.0
	中国	36	33.3	41.7	2.8	5.6	0.0
	四国	22	36.4	45.5	9.1	9.1	0.0
	九州	65	44.6	44.6	7.7	6.2	1.5
参考：2023年10月（総数）		691	24.3	25.9	-	-	1.3

台北駐日経済文化代表処を知っているか

問 1 8 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)

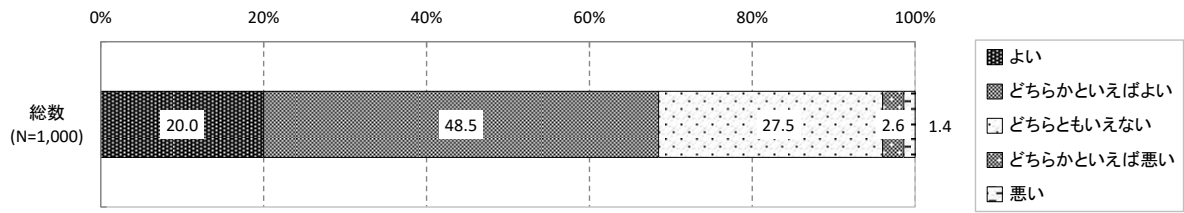


台北駐日経済文化代表処を知っているか聞いたところ、「知っている」と答えたのは4.3%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは25.2%、「知らない」と答えたのは70.5%だった。

		総数	知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	知らない
総数		1,000	4.3	25.2	70.5
性別	男性	489	6.5	30.3	63.2
	女性	511	2.2	20.4	77.5
年代	20歳代	118	8.5	26.3	65.3
	30歳代	127	4.7	18.9	76.4
	40歳代	160	3.1	18.8	78.1
	50歳代	186	4.8	21.5	73.7
	60歳代	147	3.4	23.8	72.8
	70歳代	162	3.1	32.7	64.2
	80歳代	100	3.0	39.0	58.0
最終学歴	中学校	24	8.3	29.2	62.5
	高等学校	292	2.4	29.1	68.5
	短大・高専・専門学校	217	1.8	17.1	81.1
	大学・大学院	467	6.4	26.3	67.2
職業	事務職	180	3.9	25.6	70.6
	管理職	66	16.7	27.3	56.1
	専門的・技術職	126	6.3	19.8	73.8
	販売・サービス職	95	1.1	21.1	77.9
	技能・労務職	65	4.6	24.6	70.8
	農林漁業	6	0.0	50.0	50.0
	主婦・主夫	239	2.1	23.0	74.9
	学生	9	0.0	11.1	88.9
	無職	214	3.7	31.8	64.5
地域	北海道	41	2.4	26.8	70.7
	東北	71	2.8	25.4	71.8
	関東	349	5.2	25.5	69.3
	中部	168	3.6	22.6	73.8
	近畿	176	4.5	20.5	75.0
	中国	54	5.6	25.9	68.5
	四国	30	6.7	36.7	56.7
	九州	111	2.7	31.5	65.8
参考:2023年10月(総数)		1,000	7.5	24.7	67.8

日本と台湾の関係をどう思うか

問 1 9 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



現在の日本と台湾の関係をどう思うか聞いたところ、「よい」と答えたのは20.0%、「どちらかといえばよい」と答えたのは48.5%、「どちらともいえない」と答えたのは27.5%、「どちらかといえば悪い」と答えたのは2.6%、「悪い」と答えたのは1.4%だった。

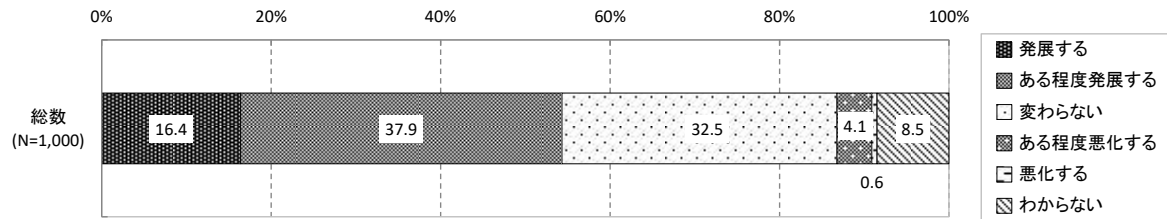
小計でみると、「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えたのは68.5%、「悪い(計)」「悪い」+「どちらかといえば悪い」と答えたのは4.0%だった。

性別にみると、「よい(計)」と答えたのは男性で74.4%、女性で62.8%と、男性で高い。

	総数	よい	どちらかとい えばよい	どちらとも いえない	どちらかとい えば悪い	悪い	よい(計)	悪い(計)
総数	1,000	20.0	48.5	27.5	2.6	1.4	68.5	4.0
性別								
男性	489	25.8	48.7	21.5	2.2	1.8	74.4	4.1
女性	511	14.5	48.3	33.3	2.9	1.0	62.8	3.9
年代								
20歳代	118	13.6	39.0	41.5	2.5	3.4	52.5	5.9
30歳代	127	18.1	39.4	33.9	6.3	2.4	57.5	8.7
40歳代	160	16.9	48.8	29.4	2.5	2.5	65.6	5.0
50歳代	186	18.8	47.3	29.6	3.2	1.1	66.1	4.3
60歳代	147	18.4	49.7	29.9	2.0	0.0	68.0	2.0
70歳代	162	26.5	56.8	14.8	1.2	0.6	83.3	1.9
80歳代	100	29.0	58.0	13.0	0.0	0.0	87.0	0.0
最終 学歴								
中学校	24	25.0	45.8	29.2	0.0	0.0	70.8	0.0
高等学校	292	17.1	46.9	30.8	3.8	1.4	64.0	5.1
短大・高専・専門学校	217	16.1	42.9	34.6	3.7	2.8	59.0	6.5
大学・大学院	467	23.3	52.2	22.1	1.5	0.9	75.6	2.4
職業								
事務職	180	17.8	50.6	27.8	1.1	2.8	68.3	3.9
管理職	66	24.2	50.0	24.2	1.5	0.0	74.2	1.5
専門的・技術職	126	16.7	54.0	26.2	2.4	0.8	70.6	3.2
販売・サービス職	95	17.9	47.4	31.6	3.2	0.0	65.3	3.2
技能・労務職	65	18.5	40.0	32.3	6.2	3.1	58.5	9.2
農林漁業	6	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	66.7	16.7
主婦・主夫	239	18.4	43.9	30.5	5.0	2.1	62.3	7.1
学生	9	11.1	44.4	44.4	0.0	0.0	55.6	0.0
無職	214	25.2	52.3	22.0	0.0	0.5	77.6	0.5
地域								
北海道	41	12.2	51.2	31.7	2.4	2.4	63.4	4.9
東北	71	16.9	60.6	21.1	1.4	0.0	77.5	1.4
関東	349	20.1	47.6	26.9	2.9	2.6	67.6	5.4
中部	168	17.3	42.9	32.7	6.0	1.2	60.1	7.1
近畿	176	23.9	49.4	25.6	0.6	0.6	73.3	1.1
中国	54	18.5	46.3	35.2	0.0	0.0	64.8	0.0
四国	30	16.7	70.0	10.0	3.3	0.0	86.7	3.3
九州	111	24.3	45.0	27.9	1.8	0.9	69.4	2.7
参考: 2023年10月(総数)	1,000	21.9	50.9	26.0	0.8	0.4	72.8	1.2

日本と台湾の関係は将来どうなるか

問20 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか。(答えは1つ)



日本と台湾の関係は将来どうなるか聞いたところ、「発展する」と答えたのは16.4%、「ある程度発展する」と答えたのは37.9%、「変わらない」と答えたのは32.5%、「ある程度悪化する」と答えたのは4.1%、「悪化する」と答えたのは0.6%だった。なお、「わからない」と答えたのは8.5%だった。

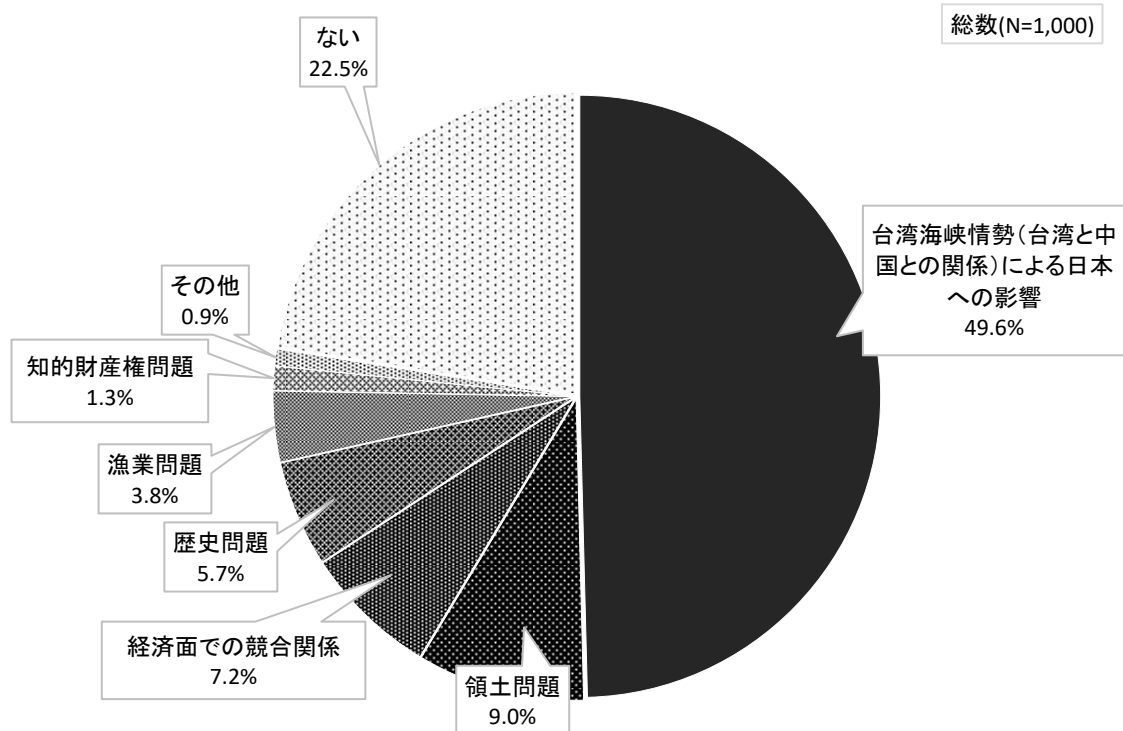
小計でみると、「発展する（計）」（「発展する」＋「ある程度発展する」）は54.3%、「悪化する（計）」（「ある程度悪化する」＋「悪化する」）は4.7%となっている。

性別にみると、「発展する（計）」と答えた者の割合は男性で62.4%、女性で46.6%と、男性のほうが高い。

		総数	発展する	ある程度 発展する	変わらない	ある程度 悪化する	悪化する	わからない	発展する (計)	悪化する (計)
総数		1,000	16.4	37.9	32.5	4.1	0.6	8.5	54.3	4.7
性別	男性	489	22.7	39.7	26.8	5.3	0.6	4.9	62.4	5.9
	女性	511	10.4	36.2	38.0	2.9	0.6	11.9	46.6	3.5
年代	20歳代	118	11.9	36.4	33.1	10.2	1.7	6.8	48.3	11.9
	30歳代	127	15.7	35.4	26.8	4.7	1.6	15.7	51.2	6.3
	40歳代	160	15.0	39.4	32.5	4.4	0.6	8.1	54.4	5.0
	50歳代	186	21.5	36.6	30.6	3.8	0.0	7.5	58.1	3.8
	60歳代	147	12.9	38.1	35.4	4.8	0.7	8.2	51.0	5.4
	70歳代	162	17.3	39.5	34.0	1.2	0.0	8.0	56.8	1.2
	80歳代	100	19.0	40.0	36.0	0.0	0.0	5.0	59.0	0.0
最終 学歴	中学校	24	12.5	29.2	45.8	4.2	0.0	8.3	41.7	4.2
	高等学校	292	13.0	36.0	38.4	3.4	0.7	8.6	49.0	4.1
	短大・高専・専門学校	217	13.8	29.5	32.3	5.1	0.9	18.4	43.3	6.0
	大学・大学院	467	19.9	43.5	28.3	4.1	0.4	3.9	63.4	4.5
職業	事務職	180	16.7	43.3	30.0	3.3	1.1	5.6	60.0	4.4
	管理職	66	25.8	30.3	36.4	4.5	1.5	1.5	56.1	6.1
	専門的・技術職	126	14.3	46.8	28.6	4.8	0.0	5.6	61.1	4.8
	販売・サービス職	95	18.9	37.9	27.4	5.3	0.0	10.5	56.8	5.3
	技能・労務職	65	10.8	40.0	26.2	10.8	1.5	10.8	50.8	12.3
	農林漁業	6	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	66.7	16.7
	主婦・主夫	239	11.3	33.1	38.5	4.2	0.4	12.6	44.4	4.6
	学生	9	11.1	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0
	無職	214	19.6	36.4	33.2	1.9	0.0	8.9	56.1	1.9
地域	北海道	41	9.8	31.7	39.0	0.0	0.0	19.5	41.5	0.0
	東北	71	11.3	52.1	28.2	1.4	1.4	5.6	63.4	2.8
	関東	349	17.2	35.2	32.7	5.7	0.6	8.6	52.4	6.3
	中部	168	14.3	35.1	36.9	2.4	1.2	10.1	49.4	3.6
	近畿	176	21.6	38.1	30.7	3.4	0.6	5.7	59.7	4.0
	中国	54	11.1	40.7	35.2	3.7	0.0	9.3	51.9	3.7
	四国	30	6.7	53.3	23.3	3.3	0.0	13.3	60.0	3.3
	九州	111	19.8	37.8	29.7	6.3	0.0	6.3	57.7	6.3
参考: 2023年10月(総数)		1,000	18.4	40.7	26.6	3.0	0.4	10.9	59.1	3.4

日本と台湾の間で最も懸念される問題

問 2 1 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。
(答えは 1 つ)



日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うものを聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者の割合がもっとも高く、49.6%だった。以下、「領土問題」9.0%、「経済面での競合関係」7.2%、「歴史問題」5.7%、「漁業問題」3.8%、「知的財産権問題」1.3%となっている。なお、「ない」と答えた者の割合は22.5%だった。

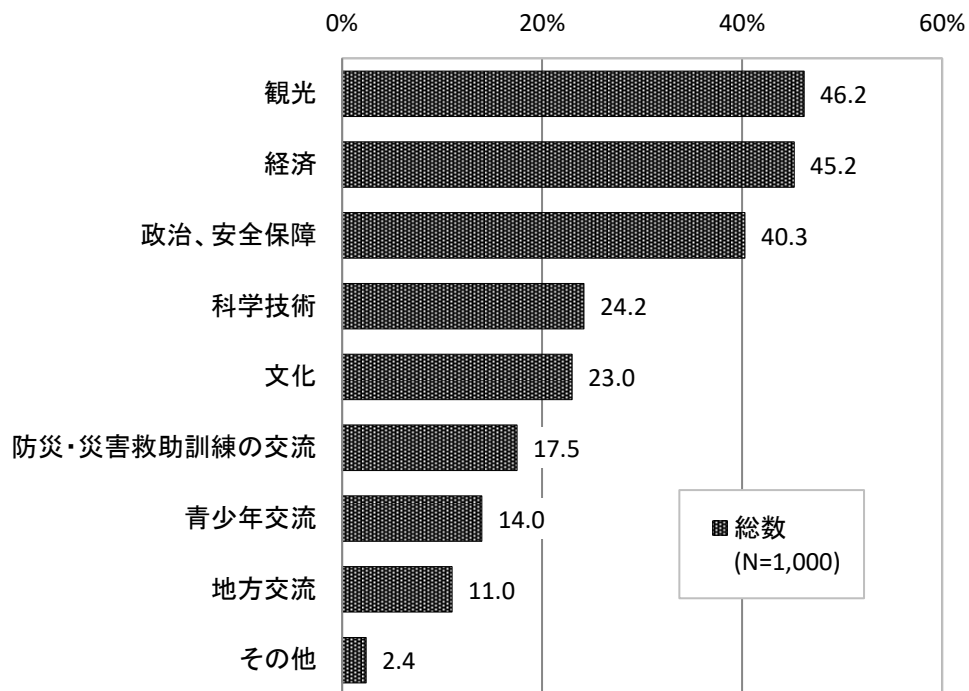
年代別にみると、60 歳代以上で「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者の割合が 6 割を超え高い。

		総数	漁業問題	経済面での 競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権 問題	台湾海峡情 勢(台湾と中 国との関係) による日本へ の影響	その他
	総数	1,000	3.8	7.2	9.0	5.7	1.3	49.6	0.9
性別	男性	489	3.7	7.0	11.2	6.7	2.2	51.9	0.4
	女性	511	3.9	7.4	6.8	4.7	0.4	47.4	1.4
年代	20歳代	118	5.9	9.3	21.2	9.3	1.7	16.9	0.8
	30歳代	127	2.4	7.9	10.2	6.3	0.8	34.6	1.6
	40歳代	160	3.8	9.4	8.1	6.9	3.1	44.4	0.6
	50歳代	186	4.3	9.7	8.6	8.6	0.5	42.5	1.1
	60歳代	147	3.4	6.1	4.8	2.0	0.7	61.9	1.4
	70歳代	162	4.3	3.1	6.2	1.2	1.2	75.3	0.6
	80歳代	100	2.0	4.0	6.0	6.0	1.0	69.0	0.0
	中学校	24	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	45.8	0.0
最終 学歴	高等学校	292	4.1	7.2	8.2	4.5	1.7	47.6	1.0
	短大・高専・専門学校	217	5.5	5.5	8.3	5.1	0.0	46.5	1.4
	大学・大学院	467	2.6	8.1	9.9	6.9	1.5	52.5	0.6
職業	事務職	180	3.9	9.4	10.6	5.0	1.1	47.2	0.6
	管理職	66	1.5	15.2	16.7	9.1	0.0	37.9	1.5
	専門的・技術職	126	4.8	6.3	13.5	7.1	2.4	41.3	1.6
	販売・サービス職	95	5.3	6.3	8.4	6.3	2.1	43.2	2.1
	技能・労務職	65	4.6	10.8	7.7	7.7	7.7	35.4	0.0
	農林漁業	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0
	主婦・主夫	239	3.8	5.9	5.4	5.0	0.0	53.6	0.4
	学生	9	0.0	0.0	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1
	無職	214	3.3	4.7	6.1	4.2	0.5	63.1	0.5
地域	北海道	41	7.3	4.9	7.3	4.9	0.0	46.3	0.0
	東北	71	1.4	8.5	12.7	2.8	1.4	53.5	2.8
	関東	349	3.4	6.9	11.2	6.0	1.7	48.1	1.1
	中部	168	4.2	5.4	9.5	5.4	1.8	47.6	0.0
	近畿	176	4.0	8.0	5.7	5.7	0.0	51.1	0.6
	中国	54	5.6	11.1	7.4	9.3	0.0	46.3	1.9
	四国	30	3.3	13.3	0.0	6.7	3.3	56.7	3.3
	九州	111	3.6	6.3	8.1	5.4	1.8	53.2	0.0
参考:2023年10月(総数)		1,000	5.3	6.8	8.5	7.3	1.2	44.4	0.8

		総数	ない
	総数	1,000	22.5
性別	男性	489	16.8
	女性	511	28.0
年代	20歳代	118	34.7
	30歳代	127	36.2
	40歳代	160	23.8
	50歳代	186	24.7
	60歳代	147	19.7
	70歳代	162	8.0
	80歳代	100	12.0
	中学校	24	25.0
最終 学歴	高等学校	292	25.7
	短大・高専・専門学校	217	27.6
	大学・大学院	467	18.0
職業	事務職	180	22.2
	管理職	66	18.2
	専門的・技術職	126	23.0
	販売・サービス職	95	26.3
	技能・労務職	65	26.2
	農林漁業	6	16.7
	主婦・主夫	239	25.9
	学生	9	11.1
	無職	214	17.8
地域	北海道	41	29.3
	東北	71	16.9
	関東	349	21.5
	中部	168	26.2
	近畿	176	25.0
	中国	54	18.5
	四国	30	13.3
	九州	111	21.6
参考:2023年10月(総数)		1,000	20.9

力を入れて行うべき交流の分野

問 2 2 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思いませんか。
(複数回答可)



日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思うか聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が最も高く、46.2%だった。以下、「経済」45.2%、「政治、安全保障」40.3%、「科学技術」24.2%、「文化」23.0%、「防災・災害救助訓練の交流」17.5%、「青少年交流」14.0%、「地方交流」11.0%の順となっている。

性別にみると、男性では「経済」が1位、女性では「観光」が1位となっている。

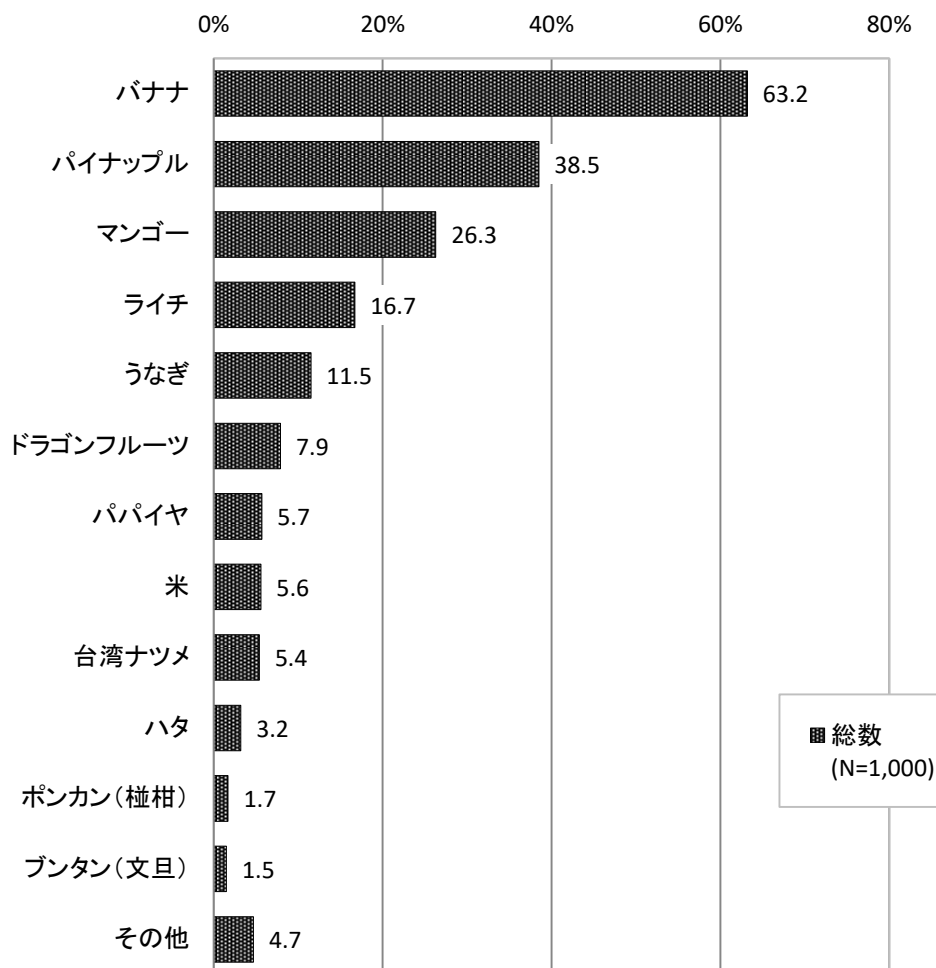
年代別にみると、「経済」、「政治、安全保障」は70歳代以上で5割を超え高くなっている。

		総数	観光	経済	科学技術	文化	青少年交流	政治、安全保障	地方交流
総数		1,000	46.2	45.2	24.2	23.0	14.0	40.3	11.0
性別	男性	489	47.9	52.4	29.7	23.9	17.4	41.5	12.7
	女性	511	44.6	38.4	19.0	22.1	10.8	39.1	9.4
年代	20歳代	118	39.0	32.2	17.8	26.3	13.6	22.0	11.9
	30歳代	127	42.5	38.6	26.0	26.0	11.0	33.1	15.0
	40歳代	160	47.5	41.3	20.6	21.3	10.0	40.6	8.8
	50歳代	186	50.0	41.9	19.4	20.4	14.0	38.2	9.1
	60歳代	147	51.0	48.3	19.0	21.1	9.5	40.8	9.5
	70歳代	162	41.4	53.1	31.5	26.5	17.3	51.9	13.0
	80歳代	100	51.0	64.0	40.0	20.0	26.0	55.0	11.0
最終学歴	中学校	24	29.2	50.0	12.5	16.7	16.7	37.5	12.5
	高等学校	292	46.6	43.2	19.2	18.8	12.3	40.1	9.9
	短大・高専・専門学校	217	43.3	35.9	13.8	22.1	9.7	40.6	7.8
	大学・大学院	467	48.2	50.5	32.8	26.3	16.9	40.5	13.1
職業	事務職	180	47.8	40.6	20.0	15.6	11.7	31.1	12.2
	管理職	66	54.5	53.0	25.8	28.8	13.6	37.9	12.1
	専門的・技術職	126	46.8	42.1	30.2	24.6	13.5	42.1	9.5
	販売・サービス職	95	42.1	46.3	21.1	35.8	13.7	37.9	15.8
	技能・労務職	65	38.5	40.0	18.5	15.4	15.4	38.5	12.3
	農林漁業	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7
	主婦・主夫	239	47.7	40.6	18.4	23.0	10.5	40.2	10.9
	学生	9	22.2	55.6	22.2	33.3	0.0	22.2	0.0
	無職	214	46.7	54.7	33.6	23.4	21.0	50.5	8.4
	北海道	41	46.3	46.3	29.3	26.8	12.2	39.0	12.2
地域	東北	71	49.3	54.9	29.6	18.3	11.3	42.3	5.6
	関東	349	46.4	44.4	23.5	25.5	16.3	42.7	8.9
	中部	168	45.2	45.2	28.6	18.5	9.5	36.9	13.7
	近畿	176	46.6	38.6	23.9	25.0	10.8	39.2	13.1
	中国	54	37.0	48.1	22.2	16.7	14.8	46.3	11.1
	四国	30	50.0	60.0	16.7	16.7	20.0	50.0	13.3
	九州	111	47.7	45.9	18.0	25.2	18.9	33.3	12.6
参考：2023年10月（総数）		1,000	55.1	56.8	25.1	28.3	15.9	43.3	11.9

		総数	防災・災害救助訓練の交流	その他
総数		1,000	17.5	2.4
性別	男性	489	15.7	1.8
	女性	511	19.2	2.9
年代	20歳代	118	17.8	6.8
	30歳代	127	15.0	3.1
	40歳代	160	18.1	2.5
	50歳代	186	14.5	1.1
	60歳代	147	15.6	2.0
	70歳代	162	21.0	1.9
	80歳代	100	22.0	0.0
最終学歴	中学校	24	16.7	4.2
	高等学校	292	16.4	3.4
	短大・高専・専門学校	217	18.4	3.7
	大学・大学院	467	17.8	1.1
職業	事務職	180	11.7	2.2
	管理職	66	7.6	0.0
	専門的・技術職	126	16.7	1.6
	販売・サービス職	95	23.2	2.1
	技能・労務職	65	9.2	6.2
	農林漁業	6	50.0	0.0
	主婦・主夫	239	19.7	2.1
	学生	9	22.2	0.0
	無職	214	22.4	3.3
	北海道	41	26.8	4.9
地域	東北	71	25.4	1.4
	関東	349	17.2	2.9
	中部	168	14.9	2.4
	近畿	176	20.5	0.6
	中国	54	7.4	3.7
	四国	30	16.7	0.0
	九州	111	14.4	3.6
参考：2023年10月（総数）		1,000	13.7	1.9

日本で売っているのを見た、あるいは食べたことのある 台湾産の農産物、水産物

問23 あなたが日本のスーパーや青果店、鮮魚店で見たことがある、あるいは日本で食べたことがある台湾産の農産物、水産物はどのようなものがありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



日本で売っているのを見た、あるいは食べたことのある台湾産の農産物、水産物を聞いたところ、「バナナ」と答えた者の割合が最も高く、63.2%だった。以下、「パイナップル」38.5%、「マンゴー」26.3%、「ライチ」16.7%、「うなぎ」11.5%、「ドラゴンフルーツ」7.9%、「パパイア」5.7%、「米」5.6%、「台湾ナツメ」5.4%、「ハタ」3.2%、「ポンカン（椪柑）」1.7%「ブント（文旦）」1.5%、となっている。

年代別にみると、60歳代以上で「バナナ」と答えた者が7割以上と高い。20歳代、30歳代、80歳代では、「マンゴー」と答えた者が3割を超え他の年代と比べ高くなっている。

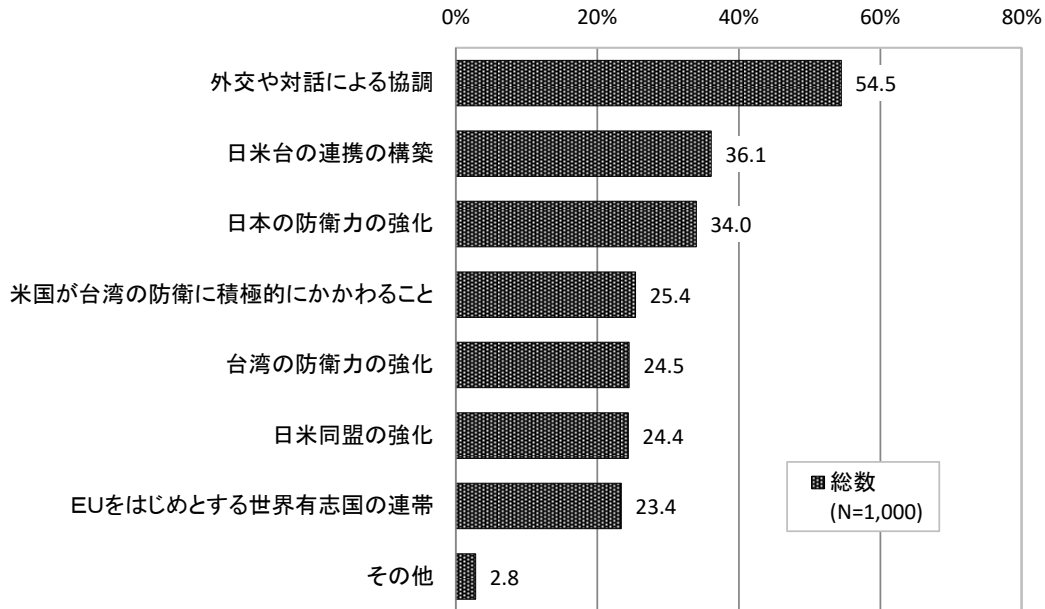
		総数	バナナ	マンゴー	パイナップル	ライチ	ポンカン (椪柑)	パパイヤ	ドラゴンフ ルーツ
総数		1,000	63.2	26.3	38.5	16.7	1.7	5.7	7.9
性別	男性	489	62.0	26.0	37.4	15.7	2.0	6.3	9.4
	女性	511	64.4	26.6	39.5	17.6	1.4	5.1	6.5
年代	20歳代	118	40.7	35.6	35.6	11.0	5.1	7.6	6.8
	30歳代	127	38.6	33.1	36.2	14.2	1.6	3.1	4.7
	40歳代	160	55.6	28.1	37.5	10.0	1.3	4.4	6.9
	50歳代	186	66.1	24.2	33.9	16.1	1.6	6.5	8.6
	60歳代	147	76.2	18.4	41.5	23.1	0.0	3.4	8.8
	70歳代	162	82.1	19.8	45.1	22.2	0.6	8.6	9.9
	80歳代	100	78.0	30.0	40.0	20.0	3.0	6.0	9.0
	中学校	24	70.8	8.3	16.7	8.3	0.0	4.2	0.0
最終 学歴	高等学校	292	70.9	20.9	32.2	14.4	1.4	4.8	9.2
	短大・高専・専門学校	217	64.1	25.3	39.2	19.4	2.3	3.7	6.5
	大学・大学院	467	57.6	31.0	43.3	17.3	1.7	7.3	8.1
職業	事務職	180	56.1	31.1	40.0	17.8	2.2	6.7	8.9
	管理職	66	62.1	19.7	39.4	12.1	0.0	3.0	3.0
	専門的・技術職	126	60.3	38.1	37.3	11.9	2.4	5.6	5.6
	販売・サービス職	95	65.3	23.2	36.8	21.1	3.2	7.4	9.5
	技能・労務職	65	47.7	20.0	29.2	12.3	3.1	4.6	10.8
	農林漁業	6	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7
	主婦・主夫	239	67.4	23.0	37.7	16.7	0.8	5.0	7.9
	学生	9	66.7	66.7	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0
	無職	214	70.1	23.4	41.1	20.6	1.4	5.6	8.4
地域	北海道	41	70.7	24.4	51.2	24.4	9.8	2.4	7.3
	東北	71	71.8	32.4	36.6	15.5	1.4	2.8	14.1
	関東	349	64.2	28.9	38.4	14.6	1.1	6.3	6.6
	中部	168	67.9	23.8	41.1	22.6	0.0	4.8	8.3
	近畿	176	56.8	26.1	37.5	18.2	2.3	5.7	8.0
	中国	54	64.8	20.4	46.3	14.8	0.0	5.6	11.1
	四国	30	53.3	20.0	30.0	13.3	3.3	6.7	3.3
	九州	111	56.8	23.4	31.5	11.7	2.7	8.1	7.2
参考:2023年10月(総数)※		1,000	68.7	27.3	40.6	19.4	2.9	8.7	11.7

※2023年10月調査では、「あなたが日本のスーパーや八百屋で見たことがある、あるいは日本で食べたことがある台湾産の果物はどのようなものがありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。」と質問した。

		総数	台湾ナツメ	ブタン (文旦)	米	ハタ(魚)	うなぎ	その他の農産 品や水産品
総数		1,000	5.4	1.5	5.6	3.2	11.5	4.7
性別	男性	489	6.3	1.6	6.3	4.5	13.3	3.5
	女性	511	4.5	1.4	4.9	2.0	9.8	5.9
年代	20歳代	118	7.6	1.7	11.0	5.1	16.1	5.9
	30歳代	127	5.5	0.0	3.1	3.9	7.9	7.1
	40歳代	160	3.1	1.3	4.4	1.3	8.8	5.6
	50歳代	186	5.9	1.6	7.5	3.2	11.8	5.4
	60歳代	147	4.1	2.0	6.8	2.7	6.8	2.7
	70歳代	162	4.9	1.2	3.1	3.7	12.3	3.1
	80歳代	100	8.0	3.0	3.0	3.0	20.0	3.0
	中学校	24	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5	12.5
最終 学歴	高等学校	292	6.2	1.0	5.1	3.4	12.3	6.2
	短大・高専・専門学校	217	5.1	0.9	3.7	3.2	10.1	6.9
	大学・大学院	467	5.4	2.1	6.9	3.2	11.6	2.4
職業	事務職	180	3.9	1.7	3.9	2.8	10.0	3.9
	管理職	66	3.0	0.0	6.1	3.0	7.6	3.0
	専門的・技術職	126	8.7	1.6	6.3	3.2	6.3	4.8
	販売・サービス職	95	7.4	3.2	7.4	3.2	15.8	5.3
	技能・労務職	65	6.2	0.0	7.7	6.2	16.9	6.2
	農林漁業	6	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	239	7.1	1.7	5.0	2.9	10.0	5.4
	学生	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	無職	214	2.3	1.4	5.6	3.3	15.0	4.7
地域	北海道	41	2.4	2.4	4.9	2.4	14.6	2.4
	東北	71	5.6	0.0	2.8	4.2	11.3	4.2
	関東	349	3.4	1.1	5.4	3.7	12.9	4.9
	中部	168	6.5	1.2	4.8	1.2	12.5	4.8
	近畿	176	6.3	2.8	3.4	2.8	6.8	4.0
	中国	54	1.9	1.9	5.6	3.7	14.8	3.7
	四国	30	16.7	3.3	10.0	0.0	10.0	6.7
	九州	111	8.1	0.9	11.7	5.4	10.8	6.3
参考:2023年10月(総数)※		1,000	7.2	3.5	-	-	-	4.4

アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であること

問 2 4 中国は台湾や日本など周辺各国に対し、認知戦・法律戦・ハイブリッド戦などグレーゾーン作戦を拡大しており、「アジア太平洋地域の平和と安定」に影響を与えています。あなたは、「アジア太平洋地域の平和と安定」のために、重要なことは何だと思いますか。（複数回答可）



アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であることを聞いたところ、「外交や対話による協調」と答えた者の割合が最も高く、54.5%だった。以下、「日米台の連携の構築」36.1%、「日本の防衛力の強化」34.0%、「米国が台湾の防衛に積極的にかかわること」25.4%、「台湾の防衛力の強化」24.5%、「日米同盟の強化」24.4%、「EUをはじめとする世界有志国の連帯」23.4%、となっている。

性別にみると、男女ともに「外交や対話による協調」、次いで「日米台の連携の構築」の順に高い。

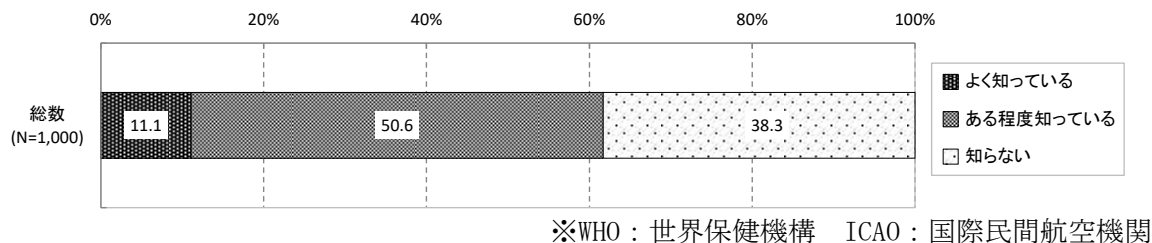
年代別にみると、70歳代以上で、「外交や対話による協調」と答えた人は7割近くと特に高くなっている。

		総数	外交や対話による協調	台湾の防衛力の強化	日本の防衛力の強化	米国が台湾の防衛に積極的にかかわること	日米同盟の強化	日米台の連携の構築	EUをはじめとする世界有志国の連帯
総数		1,000	54.5	24.5	34.0	25.4	24.4	36.1	23.4
性別	男性	489	54.0	27.4	39.7	32.9	31.1	40.5	26.4
	女性	511	55.0	21.7	28.6	18.2	18.0	31.9	20.5
年代	20歳代	118	42.4	21.2	31.4	16.9	25.4	22.0	16.1
	30歳代	127	44.1	25.2	35.4	22.0	25.2	27.6	22.0
	40歳代	160	47.5	30.6	40.6	22.5	23.8	29.4	15.6
	50歳代	186	53.8	21.0	34.9	23.1	25.8	29.6	22.6
	60歳代	147	57.8	21.8	29.9	28.6	24.5	38.8	23.1
	70歳代	162	67.3	26.5	35.2	30.9	19.8	51.9	31.5
	80歳代	100	69.0	25.0	27.0	35.0	28.0	57.0	35.0
	中学校	24	66.7	33.3	37.5	37.5	25.0	37.5	33.3
最終学歴	高等学校	292	49.7	19.5	29.5	24.3	27.4	34.2	22.3
	短大・高専・専門学校	217	55.3	24.9	33.6	24.0	17.5	34.6	21.7
	大学・大学院	467	56.5	27.0	36.8	26.1	25.7	37.9	24.4
職業	事務職	180	50.6	26.1	30.0	20.6	20.0	30.6	19.4
	管理職	66	56.1	28.8	48.5	33.3	27.3	31.8	22.7
	専門的・技術職	126	50.0	21.4	38.9	29.4	27.0	32.5	17.5
	販売・サービス職	95	56.8	26.3	40.0	24.2	27.4	33.7	17.9
	技能・労務職	65	46.2	13.8	27.7	21.5	26.2	33.8	23.1
	農林漁業	6	50.0	66.7	50.0	66.7	50.0	83.3	50.0
	主婦・主夫	239	56.1	22.2	28.9	17.6	21.8	32.6	23.8
	学生	9	66.7	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1	0.0
	無職	214	59.3	28.0	35.0	34.1	25.7	49.5	32.7
地域	北海道	41	61.0	12.2	29.3	17.1	36.6	36.6	22.0
	東北	71	60.6	31.0	45.1	25.4	26.8	40.8	25.4
	関東	349	53.9	26.9	34.4	26.9	24.1	37.5	22.1
	中部	168	54.8	20.8	32.1	20.8	26.2	31.5	23.8
	近畿	176	56.8	22.7	32.4	29.0	21.0	38.1	22.7
	中国	54	48.1	22.2	37.0	20.4	24.1	37.0	18.5
	四国	30	53.3	33.3	40.0	23.3	26.7	23.3	20.0
	九州	111	49.5	24.3	29.7	27.9	21.6	35.1	30.6

		総数	その他
総数		1,000	2.8
性別	男性	489	1.8
	女性	511	3.7
年代	20歳代	118	7.6
	30歳代	127	3.9
	40歳代	160	2.5
	50歳代	186	2.2
	60歳代	147	2.0
	70歳代	162	1.9
	80歳代	100	0.0
最終学歴	中学校	24	0.0
	高等学校	292	4.1
	短大・高専・専門学校	217	2.8
	大学・大学院	467	2.1
職業	事務職	180	2.8
	管理職	66	0.0
	専門的・技術職	126	3.2
	販売・サービス職	95	2.1
	技能・労務職	65	6.2
	農林漁業	6	0.0
	主婦・主夫	239	2.1
	学生	9	0.0
	無職	214	3.7
地域	北海道	41	4.9
	東北	71	2.8
	関東	349	2.9
	中部	168	2.4
	近畿	176	1.1
	中国	54	3.7
	四国	30	0.0
	九州	111	5.4

台湾の国際機関参加が中国の干渉により困難に 直面していることへの認知

問25 あなたは、台湾が国連、WHO、ICAO※など国際機関への参加を目指す中で、中国の干渉によるさまざまな困難に直面していることをご存じですか。
(答えは1つ)



台湾が国連、WHO、ICAO など国際機関への参加を目指す中で、中国の干渉によるさまざまな困難に直面していることを知っているか聞いたところ、「よく知っている」と答えた者の割合が11.1%、「ある程度知っている」と答えたのは50.6%、「知らない」と答えたのは38.3%だった。

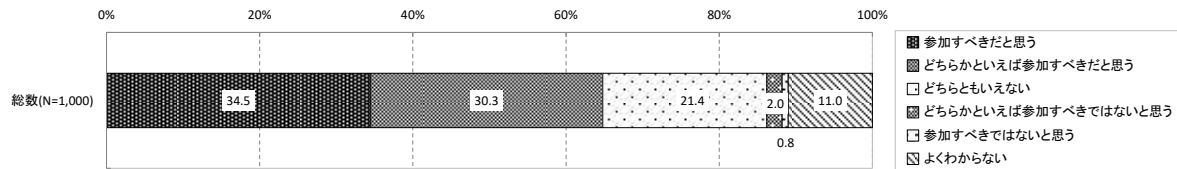
小計でみると、「知っている（計）」（「よく知っている」＋「ある程度知っている」）と答えた者の割合は61.7%と6割を超えている。

性別にみると、「知っている（計）」と答えたのは男性で68.9%、女性で54.8%と、男性で高い。

		総数	よく 知っている	ある程度 知っている	知らない	知っている (計)
総数		1,000	11.1	50.6	38.3	61.7
性別	男性	489	15.7	53.2	31.1	68.9
	女性	511	6.7	48.1	45.2	54.8
年代	20歳代	118	10.2	36.4	53.4	46.6
	30歳代	127	11.0	38.6	50.4	49.6
	40歳代	160	8.8	43.8	47.5	52.5
	50歳代	186	5.9	51.1	43.0	57.0
	60歳代	147	8.8	55.8	35.4	64.6
	70歳代	162	16.7	64.8	18.5	81.5
	80歳代	100	20.0	62.0	18.0	82.0
最終 学歴	中学校	24	12.5	50.0	37.5	62.5
	高等学校	292	6.5	53.8	39.7	60.3
	短大・高専・専門学校	217	7.4	43.3	49.3	50.7
	大学・大学院	467	15.6	52.0	32.3	67.7
職業	事務職	180	10.0	46.1	43.9	56.1
	管理職	66	19.7	50.0	30.3	69.7
	専門的・技術職	126	8.7	54.8	36.5	63.5
	販売・サービス職	95	8.4	51.6	40.0	60.0
	技能・労務職	65	6.2	55.4	38.5	61.5
	農林漁業	6	16.7	33.3	50.0	50.0
	主婦・主夫	239	6.3	46.9	46.9	53.1
	学生	9	11.1	33.3	55.6	44.4
	無職	214	18.7	55.6	25.7	74.3
地域	北海道	41	7.3	46.3	46.3	53.7
	東北	71	12.7	49.3	38.0	62.0
	関東	349	12.3	52.1	35.5	64.5
	中部	168	10.1	51.8	38.1	61.9
	近畿	176	12.5	44.3	43.2	56.8
	中国	54	5.6	51.9	42.6	57.4
	四国	30	3.3	70.0	26.7	73.3
	九州	111	11.7	50.5	37.8	62.2

台湾の国際機関への参加について

問 2 6 台湾の国際機関への参加について、あなたはどのように考えますか。
(答えは1つ)



台湾の国際機関への参加について、どのように考えるかを聞いたところ、「参加すべきだと思う」と答えた者の割合が34.5%、「どちらかといえば参加すべきだと思う」と答えたのは30.3%、「どちらともいえない」と答えたのは21.4%、「どちらかというに参加すべきではないと思う」と答えたのは2.0%、「参加すべきではないと思う」と答えたのは0.8%だった。また「よくわからない」と答えたのは11.0%だった。

小計でみると、「参加すべきだと思う（計）」（「参加すべきだと思う」＋「どちらかといえば参加すべきだと思う」）と答えた者の割合は64.8%、「参加すべきではないと思う（計）」（「参加すべきではないと思う」＋「どちらかといえば参加すべきではないと思う」）と答えたのは2.8%だった。

性別にみると、「参加すべきだと思う（計）」と答えたのは男性で70.3%、女性で59.5%となっており、男性で高い。

		総数	参加すべき だと思う	どちらかとい えば参加 すべきだ と思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば参加 すべきでは ないと思う	参加すべき ではないと 思う	よくわから ない	参加すべき だと思う（計）	参加すべき ではないと 思う（計）
総数		1,000	34.5	30.3	21.4	2.0	0.8	11.0	64.8	2.8
性別	男性	489	41.5	28.8	18.8	2.7	0.8	7.4	70.3	3.5
	女性	511	27.8	31.7	23.9	1.4	0.8	14.5	59.5	2.2
年代	20歳代	118	22.0	26.3	27.1	5.1	0.8	18.6	48.3	5.9
	30歳代	127	28.3	29.9	23.6	1.6	1.6	15.0	58.3	3.1
	40歳代	160	27.5	28.1	23.8	3.8	1.9	15.0	55.6	5.6
	50歳代	186	33.3	30.1	23.7	2.2	0.5	10.2	63.4	2.7
	60歳代	147	36.1	33.3	23.1	0.7	0.0	6.8	69.4	0.7
	70歳代	162	45.1	35.2	12.3	0.6	0.6	6.2	80.2	1.2
	80歳代	100	51.0	27.0	16.0	0.0	0.0	6.0	78.0	0.0
最終 学歴	中学校	24	33.3	25.0	25.0	0.0	0.0	16.7	58.3	0.0
	高等学校	292	30.1	29.5	24.0	1.4	0.7	14.4	59.6	2.1
	短大・高専・専門学校	217	24.4	31.3	27.2	1.8	0.5	14.7	55.8	2.3
	大学・大学院	467	42.0	30.6	16.9	2.6	1.1	6.9	72.6	3.6
職業	事務職	180	32.2	32.2	21.7	3.3	1.1	9.4	64.4	4.4
	管理職	66	36.4	34.8	22.7	1.5	0.0	4.5	71.2	1.5
	専門的・技術職	126	32.5	32.5	25.4	4.0	0.0	5.6	65.1	4.0
	販売・サービス職	95	33.7	28.4	22.1	1.1	1.1	13.7	62.1	2.1
	技能・労務職	65	24.6	29.2	26.2	6.2	1.5	12.3	53.8	7.7
	農林漁業	6	33.3	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7
	主婦・主夫	239	29.3	28.0	23.0	0.4	1.3	18.0	57.3	1.7
	学生	9	33.3	11.1	44.4	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0
	無職	214	46.3	30.8	13.6	0.9	0.0	8.4	77.1	0.9
	北海道	41	26.8	34.1	19.5	0.0	0.0	19.5	61.0	0.0
地域	東北	71	38.0	38.0	12.7	1.4	0.0	9.9	76.1	1.4
	関東	349	37.0	30.1	20.3	1.4	1.4	9.7	67.0	2.9
	中部	168	32.1	26.8	27.4	2.4	0.0	11.3	58.9	2.4
	近畿	176	37.5	29.5	17.0	4.0	0.6	11.4	67.0	4.5
	中国	54	31.5	27.8	25.9	0.0	0.0	14.8	59.3	0.0
	四国	30	33.3	36.7	16.7	0.0	3.3	10.0	70.0	3.3
	九州	111	27.9	30.6	27.9	2.7	0.9	9.9	58.6	3.6

◎ 結論

以下では、調査結果を「台湾に対する親しみ・信頼」、「訪台経験と台湾に対する関心のあり方」、「台湾に関する知識と情報」、「日本と台湾の関係」、「アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であること」という5つの観点から、過去の結果との比較を交えながら考察した。

1 台湾に対する親しみ・信頼

台湾に対して親しみを感じるか聞いたところ、74.5%の者が親しみを感じており¹（問7）、その主な理由としては「台湾人が親切、友好的」が72.3%、「歴史的に交流が長い」が40.5%、「経済的な結びつきが強い」31.4%となっている（問8）。1位から3位までは2023年調査と同様の順位だったが、「地震や台風、コロナ等の災害発生時に支援を行ったから」は2023年調査では6位だったのが今調査では28.2%で4位となっている。台湾に対する見方に大きな変化はなく、引き続き好意的なイメージで見られているといえる。

一方、親しみを感じない²と答えたのは6.4%だった（問7）。親しみを感じない理由としては、「台湾についての知識や関心がない」が最も多く57.8%、次いで「台湾人観光客のマナーの問題」が23.4%となっている（問9）。「台湾人観光客のマナーの問題」は2023年調査では9.3%で、今回上昇しているが、訪日観光客の増加が影響していると考えられる。

信頼感についても「親しみ」と同様の傾向が見られ、63.6%が「信頼できる」³と答えている（問10）。その理由としては、「日本に友好的だから」をあげた者が69.7%と最も多く、次いで「自由・民主主義などの価値観を有している」が50.8%と多かった（問11）。一方、信頼できない⁴と答えている者は2023年調査と同様、4.2%と少数だった（問10）。

アジア諸国間での位置づけをみるため「台湾・韓国・中国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム・インド・インドネシア・マレーシア・それ以外」を選択肢として、どの国にもっとも親しみを感じるか聞いたところ、「台湾」と答えた者が44.0%と最も多かった（問1）。2016年調査から続けて台湾が最も選ばれている。

総じて、日本人の台湾に対する信頼感、親しみを感じる程度は高く、東アジア諸国間の中でも特に親しみを感じる者が多いことがうかがえる。これらは2023年調査でもっとも親しみを感じるアジアの国として台湾をあげた者が4割台、「親しみを感じる」が7割台、「信頼できる」が6割台といずれも多数であったのと同様の傾向であった。2016年調査から通してみても傾向に大きな変化はなく、安定して親しみ・信頼を得、良好なイメージを保っているといえる。

1 問7：「親しみを感じる」＋「どちらかというとき親しみを感じる」の合計

2 問7：「親しみを感じない」＋「どちらかというとき親しみを感じない」の合計

3 問10：「非常に信頼できる」＋「信頼できる」の合計

4 問10：「非常に信頼できない」＋「信頼できない」の合計

2 訪台経験と台湾に対する関心のあり方

これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、27.1%の者が「行ったことがある」と回答した（問3）。2016年調査から訪台経験は20%半ばから後半で推移し、その傾向は変わらない。年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合は、70歳代と80歳代で3割台と高くなっていた。

台湾に「行きたい」と回答した者は52.3%だった。「行きたくない」と回答した者は約1割だった（問4）。

「行きたい」と答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者の割合が78.8%で最も高かった（問5）。興味がある分野の2位は「自然・風土」50.7%、3位は「歴史・史跡・寺廟」50.1%だった。「食文化」は2016年調査から常に1位で、「自然・風土」、「歴史・史跡・寺廟」も、上位3位にはいつている。

「行きたくない」と答えた者に、台湾に行きたくない理由を聞いたところ、「海外へ行く気はない」をあげた者の割合が65.4%と最も高く、台湾に行きたくない者は、そもそも海外へ行く気がない者が多いことがうかがえる（問6）。

台湾と聞いて思いつくことを答えてもらったところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、73.5%だった（問2）。続いて「食べ物がおいしい」が43.0%、「日本と歴史的なつながりがある」が36.5%、「観光地が豊富」26.1%の順で、2023年調査と同順位であった。男性では、「自由・民主主義の国」、「半導体産業が世界に注目されている」、「経済が発展している」といった政治経済に関するイメージもあげている者の割合が高い。

売っているのを見た、あるいは食べたことのある台湾産の農産物、水産物を聞いたところ、「バナナ」をあげた者が63.2%で最も多く、以下「パイナップル」38.5%、「マンゴー」26.3%と続いた（問23）。今回調査より新たに選択肢に加わった「うなぎ」、「米」、「ハタ」は、果物に比べると認知度は高くないが、「うなぎ」が11.5%で5位となっている。

全体として、主に食や娯楽面、歴史や風土の面で関心を引いており、約4分の1が訪台経験があり、約半数が観光意欲を持っていることが分かる。

3 台湾に関する知識と情報

台湾に関する知識として、「台北駐日経済文化代表処」について知っているか、および「台湾に関する情報源」、「台湾に関する情報との接触」、「台湾の国際機関への参加」について聞いた。

台北駐日経済文化代表処を「知っている」と答えた者は4.3%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えた者は25.2%、「知らない」と答えた者は70.5%だった（問18）。

台湾に関する情報源について尋ねたところ、「テレビ」をあげた者が64.8%と最も多く、続いて「インターネット（ニュースサイト、YouTube、ブログなど）」が46.1%と多数であった（問13）。年代別にみると20歳代では「SNS（LINE、X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、TikTokなど）」をあげた者が49.2%と多く、SNSがテレビと並び主な情報源になっていることがわかる。

テレビで台湾に関する情報を得ている者に、台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンルを尋ねたところ、「ニュース」をあげた者が8割と圧倒的に多かった（問14）。

SNSで台湾に関する情報を得ている者に、台湾に関する情報源となっているSNSについて尋ねたところ、「X（旧 Twitter）」をあげた者が55.6%と最も多く、続いて「Instagram」が50.8%だった（問15）。

台湾に関する情報との接触について、近年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがあるか聞いたところ、59.3%が「見たことがある」⁵と答えた（問16）。

近年台湾に関する報道を見たことがある者に、強く印象に残った報道を尋ねたところ、「中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢」をあげた者が64.9%で最も多く、続いて「台湾のグルメ」48.9%、「台湾の半導体産業に関する動向」38.1%、「台湾の観光や文化を紹介するもの」37.1%が上位であった（問17）。上位4つは2023年調査と変わらなかった。

台湾が国連、WHO、ICAOなど国際機関への参加を目指す中で、中国の干渉によるさまざまな困難に直面していることを知っているか聞いたところ、61.7%が「知っている」⁶と答えた（問25）。

台湾の国際機関への参加についてどのように考えるか聞いたところ、64.8%が「参加すべきだと思う」⁷と答えている（問26）。「参加すべきではないと思う」⁸と回答したものは2.8%と少数だった。

総合すると、日本人は台湾に関する情報をテレビやそのニュースを通して得ていることが多いが、インターネットからの情報も多くなり、特に若い世代ではSNSを通じて情報を得ていることが多くなっている。

6割近くの人が台湾に関する報道に接していること、また、台湾海峡情勢の関心の高さ、半導体産業への注目、国際機関参加への困難さの認知の高さからも、台湾の政治、経済の動向を気にしている人が多いことが分かる。

4 日本と台湾の関係

現在の日本と台湾の関係について聞いたところ、68.5%が「よい」⁹と答えた（問19）。日本と台湾の今後の関係については、「発展する」¹⁰と答えた者が54.3%だった（問20）。両項目について、年代別にみても「よい」、「発展する」という回答が多い傾向であり、2023年調査での「よい」72.8%、「発展する」59.1%から大きな変化はみられない。

日台間で最も懸念される問題について聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者が49.6%で最も多く、次に「（問題は）ない」と答えた者が22.5%が多かった（問21）。3位以下は「領土問題」、「経済面での競合関係」、「歴史問題」と続くが、いずれも回答した者の割合は10%未満となっている。

日本と台湾が力を入れて行すべき交流の分野を聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が46.2%と最も高かった。次いで、「経済」45.2%、「政治、安全保障」40.3%などとなっている（問22）。2023年調査から上位3つに変化はなかった。

⁵ 問16：「よく見る」＋「ときどき見る」の合計

⁶ 問25：「よく知っている」＋「ある程度知っている」の合計

⁷ 問26：「参加すべきだと思う」＋「どちらかというに参加すべきだと思う」の合計

⁸ 問26：「参加すべきではないと思う」＋「どちらかというに参加すべきではないと思う」の合計

⁹ 問19：「よい」＋「どちらかといえばよい」の合計

¹⁰ 問20：「発展する」＋「ある程度発展する」の合計

全体的にみると、2023 年調査結果にみられた傾向を引き継いでおり、現在の日本と台湾の関係を良好であると捉える者が多数であり、今後についても、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」をはじめとする懸念事項はあるものの、多くの者が「関係は発展する」と考える傾向にあることが読み取れる。

5 アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であること

アジア太平洋地域の平和と安定のために重要であることを聞いたところ、「外交や対話による協調」と答えた者の割合が 54.5%と最も高く、続いて、「日米台の連携の構築」36.1%、「日本の防衛力の強化」34.0%となっている(問 24)。2023 年調査では台湾海峡の平和と安定の重要性のために重要であることを聞いたが、「外交や対話による協調」と答えた者が 57.0%と最も多く、次いで「日米台の連携の構築」37.1%で、2023 年から傾向が変わっていないことがわかる。

印象に残った台湾に関する報道をきいたところ、「中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢」をあげた者が 64.9%で最も多かったこと（問 17）からも、台湾海峡情勢への関心は高く、多くの日本人は、アジア太平洋地域の平和や安定のために、外交や対話による協調をはじめ、防衛力強化、各国との連携が重要と考えている事が分かる。

質問	選択肢
問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。 (答えは1つ)	1 台湾 2 韓国 3 中国 4 タイ 5 シンガポール 6 フィリピン 7 ベトナム 8 インド 9 インドネシア 10 マレーシア 11 上記以外
【問1で「11 上記以外」と答えた方に】 具体的にどの国・地域ですか。	自由回答
問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)	1 日本に友好的 2 自由・民主主義の国 3 経済が発展している 4 食べ物がおいしい 5 観光地が豊富 6 日本と歴史的なつながりがある 7 台湾製の商品は良い 8 多くの台湾人観光客が日本を訪れている 9 台湾は多様な文化を有している 10 台湾有事 11 半導体産業が世界に注目されている 12 その他
問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。 (答えは1つ)	1 ある 2 ない
問4 今後、あなたは台湾に行きたいですか。 (答えは1つ)	1 行きたい 2 どちらともいえない 3 行きたくない

質問	選択肢
<p>【問4で「1行きたい」と答えた方に】</p> <p>問5 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 自然・風土</p> <p>2 政治・経済</p> <p>3 食文化</p> <p>4 歴史・史跡・寺廟</p> <p>5 伝統行事（ランタンフェスティバルなど）</p> <p>6 ショッピング</p> <p>7 美容・医療（漢方・鍼灸・マッサージを含む）</p> <p>8 ポップカルチャー（音楽、ドラマ、映画、マンガ）</p> <p>9 鉄道・交通</p> <p>10 先住民族文化・客家文化（ハッカ文化）</p> <p>11 伝統芸能（布袋劇ポテヒ、台湾オペラ等）</p> <p>12 ハイテク産業</p> <p>13 その他</p>
<p>【問4で「3行きたくない」と答えた方に】</p> <p>問6 行きたくない理由は何ですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 海外へ行く気はない</p> <p>2 円安や燃油サーチャージで海外へ行くのが高額になるから</p> <p>3 台湾に魅力を感じない</p> <p>4 台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）が心配</p> <p>5 ほかに行きたい国があるから</p> <p>6 その他</p>
<p>問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<p>1 親しみを感じる</p> <p>2 どちらかというと親しみを感じる</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 どちらかというと親しみを感じない</p> <p>5 親しみを感じない</p>
<p>【問7で「1親しみを感じる」「2どちらかというと親しみを感じる」と答えた方に】</p> <p>問8 親しみを感じる理由は何ですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 台湾人が親切、友好的</p> <p>2 経済的な結びつきが強い</p> <p>3 文化面での共通性がある</p> <p>4 歴史的に交流が長い</p> <p>5 地震や台風、コロナ等の災害発生時に支援を行ったから</p> <p>6 台湾製の商品を愛用しているから</p> <p>7 漢字を使っているから</p> <p>8 日本語が話せる台湾人が多いから</p> <p>9 その他</p>

質問	選択肢
<p>【問 7 で「4 どちらかというと親しみを感じない」「5 親しみを感じない」と答えた方に】</p> <p>問 9 親しみを感じない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 漁業問題</p> <p>2 経済面での競合関係</p> <p>3 領土問題</p> <p>4 歴史問題</p> <p>5 台湾人の日本での犯罪問題</p> <p>6 台湾人観光客のマナーの問題</p> <p>7 台湾についての知識や関心がない</p> <p>8 その他</p>
<p>問 10 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。 (答えは 1 つ)</p>	<p>1 非常に信頼できる</p> <p>2 信頼できる</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 信頼できない</p> <p>5 非常に信頼できない</p>
<p>【問 10 で「1 非常に信頼できる」「2 信頼できる」と答えた方に】</p> <p>問 11 信頼できる理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 自由・民主主義などの価値観を有している</p> <p>2 平和な国だから</p> <p>3 経済・貿易パートナーだから</p> <p>4 台湾政府の安全保障政策</p> <p>5 豊かな伝統文化があるから</p> <p>6 地理的な近さ</p> <p>7 歴史的なつながり</p> <p>8 日本に友好的だから</p> <p>9 半導体など科学技術分野で日本と連携しているから</p> <p>10 その他</p>
<p>【問 10 で「4 信頼できない」「5 非常に信頼できない」と答えた方に】</p> <p>問 12 信頼できない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 漁業問題</p> <p>2 経済面での競合関係</p> <p>3 領土問題</p> <p>4 歴史問題</p> <p>5 知的財産権問題</p> <p>6 その他</p>

質問	選択肢
問 13 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。（複数回答可）	1 テレビ 2 インターネット（ニュースサイト、YouTube、ブログなど、但し SNS を除く） 3 SNS（LINE, X（旧 Twitter）, Facebook, Instagram, TikTok など） 4 新聞・雑誌・書籍 5 訪台経験 6 家族・親戚 7 台湾の友人・知人 8 日本の友人・知人 9 学校教育 10 日本での台湾関連の各種イベント（台湾祭り、台湾フェスなど） 11 旅行会社 12 その他
【問 13 で「1 テレビ」と答えた方に】 問 14 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。（複数回答可）	1 ニュース 2 情報番組（ワイドショー） 3 バラエティー 4 世界各地を紹介する番組 5 台湾を紹介する番組 6 台湾のドラマ・映画 7 スポーツ 8 その他
【問 13 で「3 SNS」と答えた方に】 問 15 あなたは、どのような SNS で台湾に関する情報を得ていますか。（複数回答可）	1 LINE 2 X（旧 Twitter） 3 Facebook 4 Instagram 5 threads 6 TikTok 7 その他
問 16 近年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがありますか。（答えは 1 つ）	1 よく見る 2 ときどき見る 3 あまり見たことがない 4 まったく見たことがない

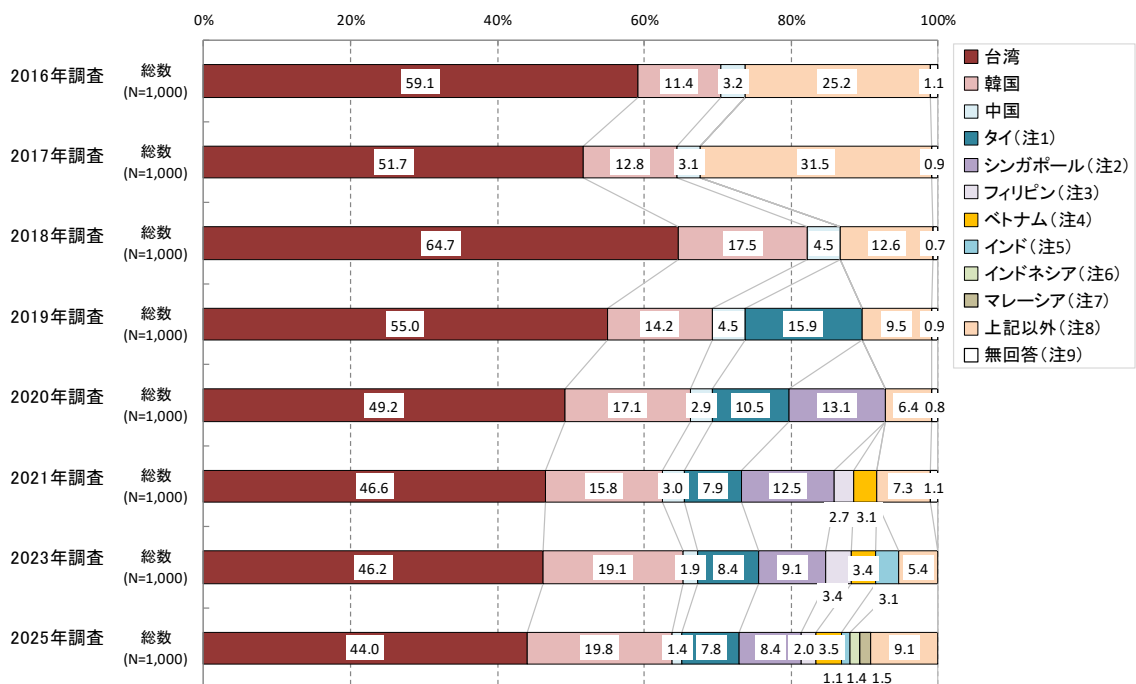
質問	選択肢
<p>【問 16 で「1 よく見る」及び「2 ときどき見る」と答えた方に】</p> <p>問 17 あなたは、どのような報道が強く印象に残りましたか。(複数回答可)</p>	<p>1 中国が台湾周辺で軍事演習を実施したこと等の台湾海峡情勢</p> <p>2 日本の各政党の要人による台湾訪問</p> <p>3 台湾の半導体産業 (TSMC 等) に関する動向</p> <p>4 台湾が TPP (環太平洋経済連携協定) へ加盟申請中であること</p> <p>5 台湾が実施している軍事演習</p> <p>6 台湾の芸能に関するもの</p> <p>7 台湾の LGBT や男女平等に関する取り組み</p> <p>8 台湾の観光や文化を紹介するもの</p> <p>9 台湾のグルメ</p> <p>10 台湾の総統選挙や国会議員選挙、国会議員のリコール等の政治にかかわること</p> <p>11 台湾が東京電力福島第一原子力発電所の事故発生後に導入した日本産食品への輸入規制を撤廃したこと</p> <p>12 その他</p>
問 18 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)	<p>1 知っている</p> <p>2 聞いたことはあるが、あまり知らない</p> <p>3 知らない</p>
問 19 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)	<p>1 よい</p> <p>2 どちらかといえばよい</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 どちらかといえば悪い</p> <p>5 悪い</p>
問 20 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)	<p>1 発展する</p> <p>2 ある程度発展する</p> <p>3 変わらない</p> <p>4 ある程度悪化する</p> <p>5 悪化する</p> <p>6 わからない</p>
問 21 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。(答えは1つ)	<p>1 漁業問題</p> <p>2 経済面での競合関係</p> <p>3 領土問題</p> <p>4 歴史問題</p> <p>5 知的財産権問題</p> <p>6 台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響</p> <p>7 その他</p> <p>8 ない</p>

質問	選択肢
<p>問 22 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思われますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 観光</p> <p>2 経済</p> <p>3 科学技術</p> <p>4 文化</p> <p>5 青少年交流</p> <p>6 政治、安全保障</p> <p>7 地方交流</p> <p>8 防災・災害救助訓練の交流</p> <p>9 その他</p>
<p>問 23 あなたが日本のスーパーや青果店、鮮魚店で見たことがある、あるいは日本で食べたことがある台湾産の農産物、水産物はどのようなものがありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)</p>	<p>1 バナナ</p> <p>2 マンゴー</p> <p>3 パイナップル</p> <p>4 ライチ</p> <p>5 ポンカン (極柑)</p> <p>6 パパイア</p> <p>7 ドラゴンフルーツ</p> <p>8 台湾ナツメ</p> <p>9 ブンタン (文旦)</p> <p>10 米</p> <p>11 ハタ (魚)</p> <p>12 うなぎ</p> <p>13 その他の農産品や水産品</p>
<p>問 24 中国は台湾や日本など周辺各国に対し、認知戦・法律戦・ハイブリッド戦などグレーゾーン作戦を拡大しており、「アジア太平洋地域の平和と安定」に影響を与えています。あなたは、「アジア太平洋地域の平和と安定」のために、重要なことは何だと思われますか。(複数回答可)</p>	<p>1 外交や対話による協調</p> <p>2 台湾の防衛力の強化</p> <p>3 日本の防衛力の強化</p> <p>4 米国が台湾の防衛に積極的にかかわること</p> <p>5 日米同盟の強化</p> <p>6 日米台の連携の構築</p> <p>7 EU をはじめとする世界有志国の連帯</p> <p>8 その他</p>

質問	選択肢
<p>問 25 あなたは、台湾が国連、WHO、ICAO※など国際機関への参加を目指す中で、中国の干渉によるさまざまな困難に直面していることをご存じですか。（答えは1つ）</p> <p>※WHO：世界保健機構 ICAO：国際民間航空機関</p>	<p>1 よく知っている</p> <p>2 ある程度知っている</p> <p>3 知らない</p>
<p>問 26 台湾の国際機関への参加について、あなたはどのように考えますか。（答えは1つ）</p>	<p>1 参加すべきだと思う</p> <p>2 どちらかといえば参加すべきだと思う</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 どちらかといえば参加すべきではないと思う</p> <p>5 参加すべきではないと思う</p> <p>6 よくわからない</p>

◎ 主要質問時系列グラフ（2016 年調査～2025 年調査）

問 1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感ずるのはどこですか。（答えは 1 つ）



(注 1) 2019 年調査より選択肢を追加

(注 2) 2020 年調査より選択肢を追加

(注 3) 2021 年調査より選択肢を追加

(注 4) 2021 年調査より選択肢を追加

(注 5) 2023 年調査より選択肢を追加

(注 6) 2025 年調査より選択肢を追加

(注 7) 2025 年調査より選択肢を追加

(注 8) 2016 年～2018 年：上記（台湾・中国・韓国）以外

2019 年：上記（台湾・中国・韓国・タイ）以外

2020 年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール）以外

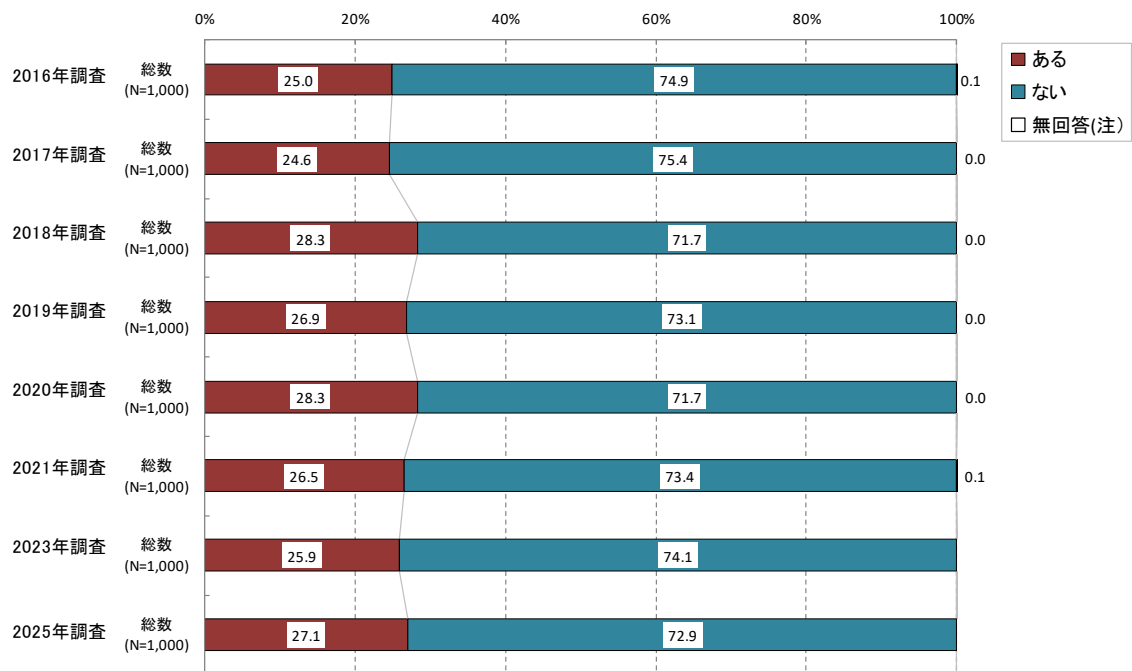
2021 年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム）以外

2023 年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム・インド）以外

2025 年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム・インド・インドネシア・マレーシア）以外

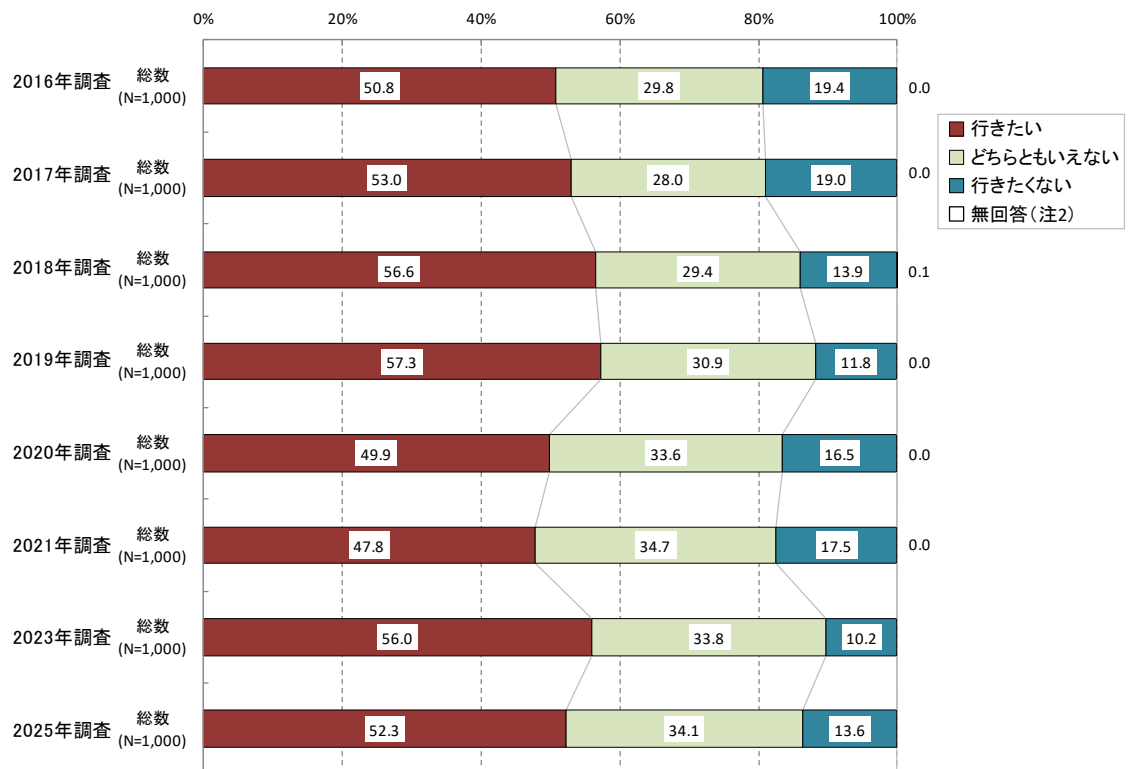
(注 9) 2023 年、2025 年調査は無回答なし

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



(注) 2023、2025年調査は無回答なし。

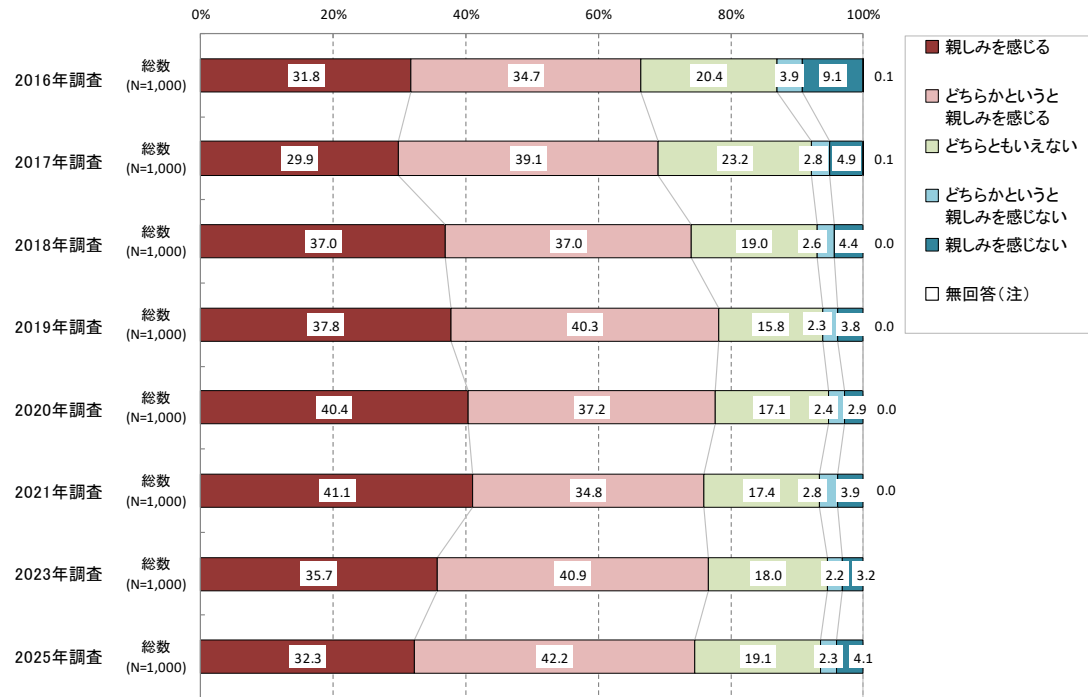
問4 今後台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



(注1) 2020年～2021年調査では、「今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。」と質問した。

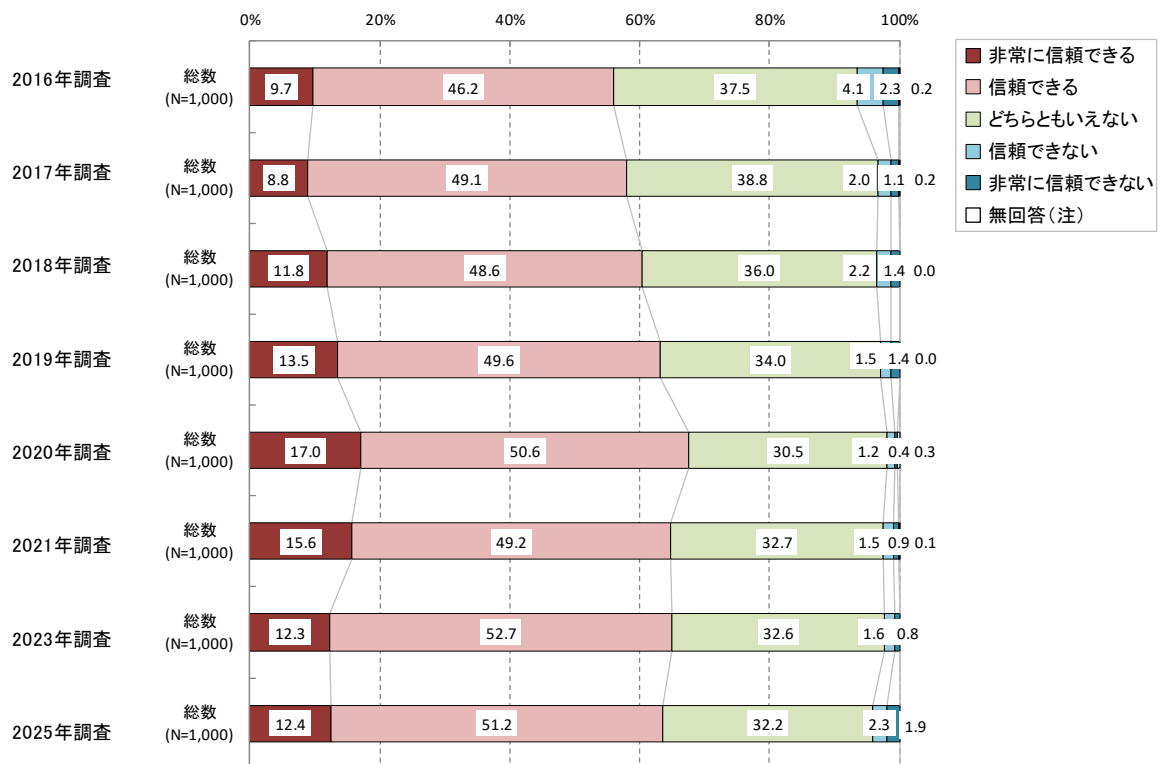
(注2) 2023年、2025年調査は無回答なし。

問 7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



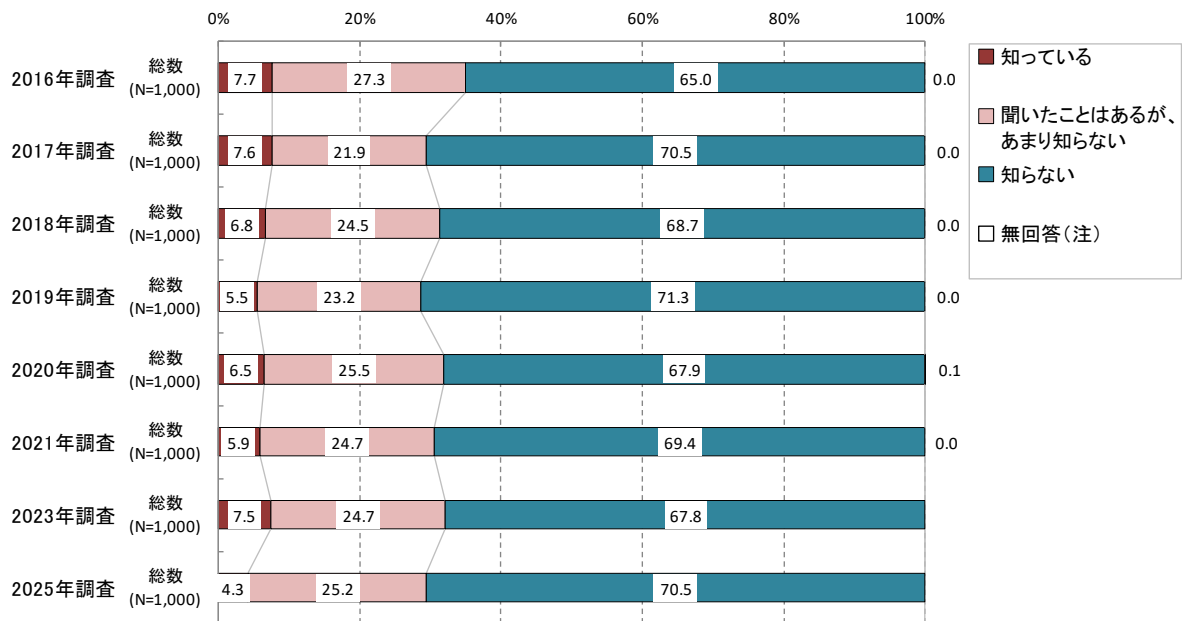
(注) 2023 年、2025 年調査は無回答なし。

問 10 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



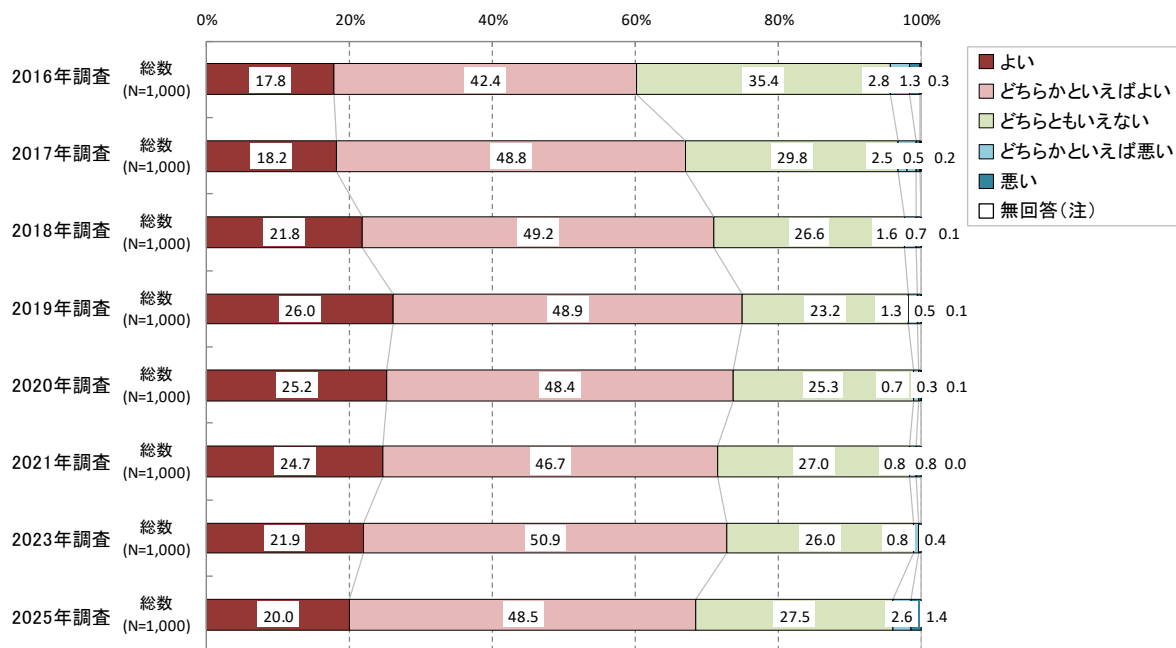
(注) 2023 年、2025 年調査は無回答なし。

問 18 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



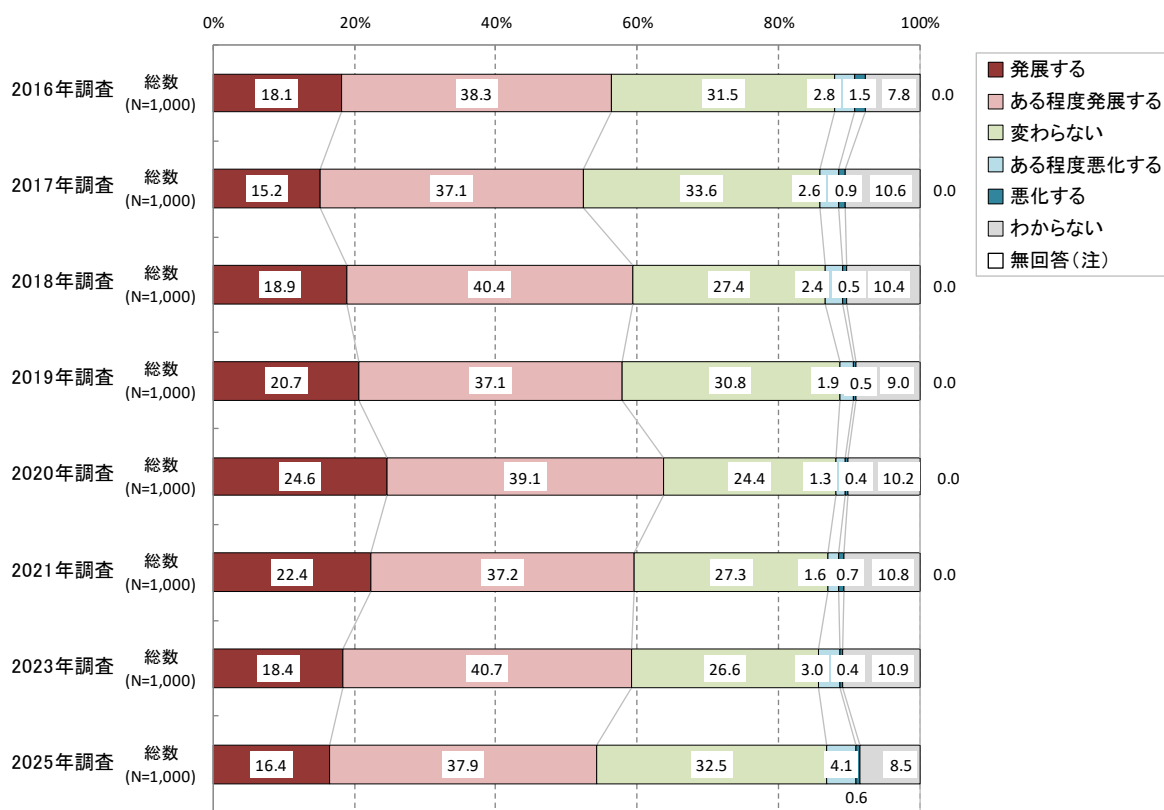
(注) 2023 年、2025 年調査は無回答なし。

問 19 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



(注) 2023 年、2025 年調査は無回答なし。

問 20 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)



(注) 2023 年調査、2025 年調査は無回答なし。